

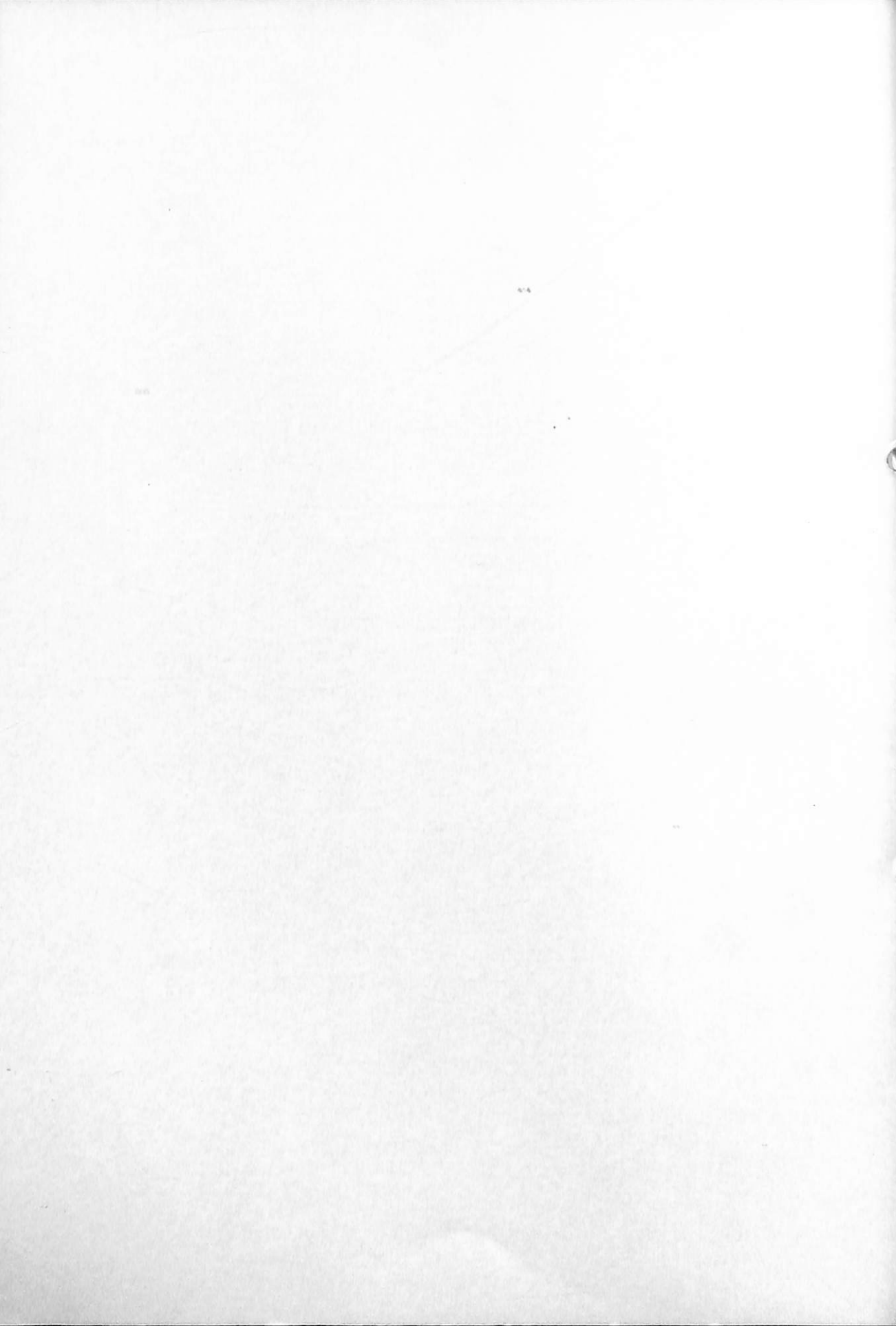
(財)日本船舶振興会補助事業

家屋の評価に用いる建築費等に関する調査研究

—主要都市における建築費に係る地域差—

昭和 56 年 3 月

財団
法人 資産評価システム研究センター



は し が き

財団法人資産評価システム研究センターは、地域における資産に関する総合的な調査研究と固定資産評価事務に関する研修の実施を目的として、昭和53年5月発足しました。

このうち、調査研究事業については、土地研究委員会、家屋研究委員会及び償却資産研究委員会の三委員会並びに資産評価システム研究会を設置し、学識経験者並びに自治省、地方公共団体及び関係研究機関の職員を研究委員に委嘱し、鋭意、研究討議を重ねるとともに、実施調査等を行い、毎年度その研究成果を公表してきたところであります。

ここに昭和55年度における^{家屋}土地研究委員会の研究成果をとりまとめて公表することとなりましたが、この機会に、熱心にご研究、ご審議いただいた研究委員各位に厚くお礼を申しあげるとともに、実地調査に当たって種々ご協力を賜った地方公共団体関係者の方々に心から感謝申しあげる次第であります。

この研究報告が、当センターの会員である地方公共団体をはじめ関係機関において活用され、また、資産評価関係職員の評価事務の一助ともなれば幸いです。

なお、当センターは今後とも、所期の目的にそって、とくに地方公共団体における資産評価実務に役立つよう事業内容の充実に一層の努力を傾注する所存であります。地方公共団体をはじめ関係機関の皆様の一層のご指導、ご援助を重ねてお願い申しあげる次第であります。

最後にこの調査研究事業は、財団法人日本船舶振興会からの補助金を受けて実施したものであり、改めて深く感謝の意を表するものであります。

昭和56年3月

財団法人 資産評価システム研究センター
理事長 石川一郎

研究組織

家屋研究委員会

- (委員長) 松下 清 夫 東京大学名誉教授
- (委員) 加藤 裕 久 国立小山工業高等専門学校助教授
- 宍道 恒 信 宍道建築設計事務所長
- 西沢 博 日本電信電話公社建築局専門調査役
- 江口 禎 武蔵工業大学教授(工学部)
- 吉田 倬 郎 工学院大学助教授(工学部)
- 石山 晴 一 住宅金融公庫建築指導部次長
- 黒田 隆 (財)建設物価調査会技術顧問
- 齋藤 順 男 清水建設(株)設備部長
- 関根 繁 夫 (株)大林組建築本部設備部次長
- 金子 清 自治省府県税課長
- 渡辺 功 " 固定資産税課長
- 吉田 隆 一 " 固定資産税課固定資産鑑定官
- 植弘 親 民 (財)資産評価システム研究センター理事
- (専門員) 宮路 洋 自治省固定資産税課家屋第一係長
- 島野 高 治 " " 家屋第二係長
- 長谷川 憲 治 (財)資産評価システム研究センター調査研究部長

目 次

第1 全国主要都市における年次別、地域別建築費の状況

1. 調査方法	2
2. 調査の結果	2
(1) 木造建物に係る建築価額等の状況調査	2
(2) 木造建物に係る建築価額等の段階別状況調査	4
(3) 木造建物に係る建築価額等の物価水準別調査	4
(4) 木造建物に係る部分別（主要部分）指数調査	6
(5) 木造建物に係る部分別ウエイトに関する調査	9
(6) まとめ	11
…参考資料（木造家屋部分別仕上資材及び建築価額状況）	50

第2 建築単価における地域差

1. 研究の目的	82
2. 地域差の要因	82
3. 検討要因	82
4. 建築単価の地域差	83
5. 物価の地域差	84
6. 労務賃金の地域差	85
7. 住宅規模の地域差	85
8. 総建築費の地域差	86
9. 収入の地域差	86
10. 手持金の地域差	87
11. まとめ	88

家屋の評価に用いる建築費等に関する調査研究

一全国主要都市における年次別、 地域別建築費の状況の調査一

目 的

家屋の建築価格に関する各市町村間の地域差の研究については、まず、その調査方法を確立する必要がある。

昭和53年度及び昭和54年度における調査は、建築費に係る地域差指数を求める場合の調査方法を確立するために、全国主要都市間における調査を行ったものであるが、昭和55年度においても各都道府県庁所在の都市における建築価格の地域差の状況をは握するとともに、昭和53年度及び昭和54年度の調査研究の結果をも含めて3年度間の研究結果を取りまとめ、さらに調査方法の確立を目的として研究を行ったものである。

第1 全国主要都市における年次別、地域別建築費の状況

1. 調査方法

- (1) 調査対象：都道府県庁所在都市47市 各1棟

木造専用住宅戸建住宅（仕様：住宅金融公庫中庸程度2階建、
延床面積100 m^2 程度）

- (2) 調査項目：建築工事単価（1 m^2 当たり）

再建築費評点数（1 m^2 当たり）

再建築費評点数の算出根拠（1 m^2 当たり）

- (3) 調査の方法：各都道府県庁所在都市の固定資産評価担当職員等によるアンケート調査

（実地調査対象都市：山形市、宇都宮市、富山市、岐阜市、奈良市、松山市、大分市）

2. 調査の結果

- (1) 木造建物に係る建築価額等の状況調査

表1-2における建築価額の東京都（特別区）を100とした場合の各都市の指数は最高が横浜市の126、最低が秋田市の73、平均で95となり、その標準偏差値は11.1となっている。この傾向は、昭和53年度、昭和54年度及び昭和55年度の3ヶ年間の平均（以下「3ヶ年平均」という。）における数値（最高が横浜市の113、最低が秋田市の75）と比較して変わらず、建築価額は、大都市が高く、東北地方が低くなっている。これは、アンケート中の建物の程度が各都市間において一定していないことによる程度差が建築価額に表われるという要因も含まれているものと考えられるものであり、これをそのまま各都市間の建築価額に対する地域差とすることには問題があ

るので、報告された建築価額を修正する必要がある。その方法として報告された再建築費評点数の算出表に基づいて適正に再建築費評点数を算出し、これを基礎として修正後の建築価額を求めるものとしたものである。

修正後の建築価額は、報告された建築価額に反映された東京都（特別区）の標準家屋との差による価額差が解消されることとなり、おおむね、その程度が一定されることとなる。

（東京＝100）

区 分	全国平均	最 高	最 低	標準偏差値	
建築価額	55年度	95	126（横浜市）	73（秋田市）	11.1
	3ヶ年平均	93	113（横浜市）	75（秋田市）	8.6
修正 建築価額	55年度	106	143（横浜市）	83（松山市）	14.3
	3ヶ年平均	98	120（横浜市）	80（松山市）	9.8
再建築費 評点数	55年度	89	104（大阪市）	78（山口市）	5.4
	3ヶ年平均	95	105（大阪市）	90（盛岡市） 秋田市	4.3

（注） 那覇市については、木造建物の建築個数が極めて少ないことからこれを除外して掲げたものである。

上記の表に見られるように、修正後の建築価額におけるその地域差は、昭和55年度調査では建築価額の場合に比較してその差は拡大されている。

各都市間における地域差は、その標準偏差値に見られるとおり建築価額11.1、修正後の建築価額14.3となっており、3ヶ年平均における標準偏差値に比較してその格差は大きく地域差は拡大されているものである。

なお、今回の調査結果によれば、東京都（特別区）を100として、建築価額の場合、最高が横浜市の126（3ヶ年平均では横浜市の113）、最

低が秋田市の73（同秋田市の75）となっており、修正後の建築価額の場合、最高が横浜市の143（同横浜市の120）、最低が松山市の83（同松山市の80）となり、最高、最低の巾は、3ヶ年平均に比較して建築価額及び修正後の建築価額ともかなり広がっており、都市間の地域差の拡大がうかがわれる。

各都市間における調査対象建物の地方的な構造の特色及び中庸として選定した建物の程度差は、再建築費評点数の東京都（特別区）を100とした場合の指数によって明らかとなり、最高は大阪市の104、最低は山口市の78、平均で89となり、その標準偏差値は5.4となっており、その巾が3ヶ年平均におけるそれぞれの数値に比較して拡大されているものである。

(2) 木造建築に係る建築価額等の段階別状況調査

表1-3は、調査対象建物に係る建築価額及び修正後の建築価額を段階別にまとめたものであるが、これによれば、建築価額では75,000円～104,999円のもの40団体、修正後の建築価額では85,000円～109,999円のもの33団体となっており、これらの段階に最も集中しているが、3ヶ年平均では70,000円～94,999円のもの34団体、修正後の建築価額では80,000円～99,999円のもの40団体とこれらの段階に最も集中しており、今回の調査では、建築価額及び修正後の建築価額ともに上昇しているものである。

(3) 木造建物に係る建築価額等の物価水準別調査

表1-4は、固定資産税における現行固定資産評価基準に定める「物価水準による補正率（以下「物価水準」という。）」の区分ごとに、当該物価水準を適用する調査対象都市についてまとめたものであり、これを建築価額、修正後の建築価額及び消費者物価指数について物価水準別に、平均、最高、最低及び標準偏差値をまとめると次表のとおりである。

区分	物価水準	年度等	平均	最高	最低	標準偏差値
建築価額	1.00	55年度	102,160 ^(円)	120,767 ^(円) (横浜市)	88,551 ^(円) (札幌市)	8,654 ^(円)
		3ヶ年平均	94,648	104,622 (横浜市)	84,069 (札幌市)	6,124
	0.95	55年度	93,505	105,900 (大津市)	78,788 (水戸市)	7,649
		3ヶ年平均	88,344	95,936 (浦和市)	78,529 (水戸市)	4,812
	0.90	55年度	86,640	110,000 (徳島市)	70,105 (秋田市)	9,715
		3ヶ年平均	82,265	94,266 (徳島市)	69,502 (秋田市)	7,258
修正建築価額	1.00	55年度	108,580 ^(円)	137,235 ^(円) (横浜市)	92,241 ^(円) (札幌市)	13,454 ^(円)
		3ヶ年平均	95,908	111,081 (横浜市)	83,644 (札幌市)	7,515
	0.95	55年度	104,829	117,270 (前橋市)	87,234 (和歌山市)	10,026
		3ヶ年平均	93,412	99,390 (浦和市)	84,040 (宇都宮市)	5,217
	0.90	55年度	99,182	122,222 (徳島市)	79,723 (松山市)	14,509
		3ヶ年平均	87,768	98,377 (徳島市)	73,959 (松山市)	9,812
消費者物価指数	1.00	55年度	96.0 ^(%)	100.0 ^(%) (東京都)	93.3 ^(%) (福岡市)	1.9 ^(%)
		3ヶ年平均	96.0	100.0 (東京都)	93.3 (福岡市)	1.9
	0.95	55年度	93.0	95.1 (仙台市)	89.7 (津市)	1.7
		3ヶ年平均	93.0	95.3 (仙台市)	90.2 (津市)	1.9
	0.90	55年度	91.2	94.2 (山形市)	89.2 (宮崎市)	1.2
		3ヶ年平均	91.2	93.6 (山形市)	88.9 (宮崎市)	1.1

(注) 那覇市については、(1)の表と同様の理由により除外して掲げたものである。)

上記の表に見られるように、物価水準段階別の平均は、建築価額については、1.00の場合102,160円、0.95の場合93,505円、0.90の場合86,640円となり、修正後の建築価額については、1.00の場合108,580円、0.95の場合104,829円、0.90の場合99,182円となり、消費者物価指数については、1.00の場合96.0%、0.95の場合93.0%、0.90の場合91.2%となっており、固定資産評価基準に定める物価水準の段階別に建築価額、修正後の建築価額及び消費者物価指数いずれも比例しており、木造建物に係る建築価額の地域差の傾向が表われている。この傾向は、3ヶ年平均についても同様である。

(4) 木造建物に係る部分別（主要部分）指数調査

表1-5における各部分別の指数は、

① 屋根

屋根の使用資材は、北海道、東北地方では亜鉛鉄板、関東、北陸、中部、近畿、中国の各地方では日本瓦、四国地方では今回の調査対象家屋は日本瓦を用いているが、当該地方では、一般的にはスレート瓦が用いられており、九州地方ではセメント瓦が用いられ、それぞれの地方の特色がある。このため屋根の工事費に差が生じ、東京都（特別区）の屋根の工事費を100とした場合の指数は、北海道、東北、九州地方が低くなっている。この傾向は、昭和54年度の調査結果と同様である。

② 基礎

基礎の構造は、全国的に布基礎が用いられ、その断面は、45cm×15cm、60cm×15cmの二種類となっている。使用資材については、特に地域的な特色は見られないが、北海道における布基礎には鉄筋が用いられているためその工事費が高くなり、東京都（特別区）の基礎の工事費を100とした場合の指数が125となっている。又、施工数量については、北海道、東北地方が多い傾向を示している。

③ 外壁

外壁の使用資材は、そのほとんどがモルタル仕上となっており、地域的

な特色は見られない。今回の調査において断熱材が用いられているのは、札幌、青森、盛岡、秋田、山形、千葉、東京、横浜、新潟、富山、静岡、名古屋及び大阪の各都市の標準家屋であり、他の都市の標準家屋については断熱材は用いられていない。この結果からみると、必ずしも寒冷地においてのみ断熱材が用いられるものとは考えられない。

なお、今回の調査においては、東京都（特別区）の調査対象家屋の外壁仕上がモルタルの下地に樹脂入りモルタル吹付を施したものであり、程度としては良好なものとなっているため、東京都（特別区）の外壁の工事費を100とした場合の指数は、札幌市、青森市、千葉市及び大阪市を除いて各都市とも低くなっているものである。

④ 柱

柱の使用資材は、檜、杉、米桐の順に使用されているが、近畿地方では檜が多く用いられ、その他の地方では檜、杉が多く用いられているように見受けられる。昭和54年度調査においては、中国、四国、九州地方では米桐が多く用いられていたが、今回の調査では中国、四国地方では米桐にかえて檜が用いられている傾向があり、九州地方では米桐にかえて檜及び杉が用いられる傾向がある。又、柱の寸法は、全国的におおむね10.5cm角となっており、柱の使用本数は、東海、近畿地方が多い傾向がある。

以上のことから、東京都（特別区）の柱の工事費を100とした場合の指数は、東海、近畿地方が高くなっている。

⑤ 内壁

内壁の使用資材は、繊維壁、プラスター、合成樹脂壁紙、角タイル、石膏ボード、ラワン合板等に代表されるが、特に使用資材の地域的な特色は見受けられない。又、内壁の施工数量については、調査対象家屋のみの状況からみると、札幌市、盛岡市、千葉市、名古屋市、津市、京都市、大阪市、奈良市、岡山市、広島市、松山市及び鹿児島市が1.20～1.40程度の増点補正率を用いており、固定資産評価基準に定める内壁の標準施工数量よりも多くなっている。

なお、内壁における断熱材の使用状況は、調査対象家屋についてみると全ての家屋について使用されていない。

⑥ 天井

天井の使用資材は、二重廻縁、一重廻縁、舟底天井、ラワン合板、軟質繊維板、石膏ボード、布貼等に代表されるが、特に使用資材の地域的な特色は内壁の場合と同様、見受けられない。

東京都（特別区）の天井の工事費を100とした場合の指数には、各都市間にバラツキが見られるが、これは各都市における調査対象家屋の仕上資材の良否によるものである。

なお、参考までに東京都（特別区）における調査対象家屋の天井の仕上資材を示すと次のとおりである。

一重廻縁（中）	67%
合成樹脂壁紙（中）	15%
軟質繊維板（化粧板）	8%
岩綿繊維板	5%
ラワン合板	5%

⑦ 建具

建具の使用資材は、外部建具については、全国的にアルミサッシュが用いられており、内部建具についても、その使用資材についての地域的な特色は見受けられない。又、建具の使用本数については、外壁、内壁の開口率の相違によってその使用本数は異なるものであるが、今回の調査結果では、札幌市においては外部建具に二重建具が用いられているため、その使用本数は多くなっているが、その他の都市においては、外壁の開口率の平均が東北地方22%、関東地方30%、北陸地方22%、東海地方28%、近畿地方17%、中国地方21%、四国地方24%、九州地方38%程度となっており、その開口率の相違によって建具の工事費の高低が表われ、その使用本数も開口率の小さい地方では少なく、開口率の大きい地方では多くなっているものである。

⑧ 建築設備

住宅用建物に通常付設されている建築設備は必須設備とその他の設備とに区分されるが、必須設備を除いてその他の設備として施工されるものには、電鈴、浴槽、流し台（コンロ台含む。）、排気扇、浄化槽等の設備がある。

東京都（特別区）の建築設備の工事費を100とした場合の各都市間の指数には、かなりのバラツキが見受けられるが、特に指数の高い都市についてその設備の状況をみると、福島市にあっては必須設備以外のその他の設備（以下「その他の設備」という。）として給湯設備、浄化槽が施工されており、金沢市にあってはその他の設備としては一般的な施工状況であるが、必須設備として施工された設備の施工数量が東京都（特別区）に対して2倍程度となっており、これと同様の設備の状況を有するものとして、高知市（必須設備の数量が同1.7倍）、熊本市（同1.7倍）、大分市（同1.9倍）があり、又、徳島市及び松山市にあっては浄化槽が施工されているものである。

なお、地域的な特色としては、札幌市における家屋には集合煙突の施工がなされている。

(5) 木造建物に係る部分別ウエイトに関する調査

表1-6における家屋の建築費に占める各部分別の割合は、

① 屋根

「(4)木造建物に係る部分別（主要部分）指数調査（以下「部分別指数調査」という。）」において述べたとおり、各地方における特色が表われ、北海道、東北及び九州地方はその割合が小さく、その他の地方ではその割合が大きくなっており、昭和54年度の調査結果では、四国地方が割合の小さい分類に該当していたのが、今回の調査では、その割合が大きい分類に該当し、多少結果が異っている。全国的に屋根のウエイトは昭和55年度の調査では5%～15%となっている。

② 基礎

部分別指数調査において述べたとおり、特に地域的な特色は見られず、全国的に基礎のウエイトはおおむね4%程度となっている。なお、北海道においては布基礎に鉄筋が用いられているが、ウエイトとしては4%にとどまっている。

③ 外壁

部分別指数調査において述べたとおり、断熱材の使用は必ずしも寒冷地のみに限られるものではないが、やはり断熱材が使用されている都市については、外壁のウエイトは高くなっている。全国的に外壁のウエイトは昭和55年度の調査では6%~14%となっている。

④ 柱

部分別指数調査において述べたとおり、使用資材、使用本数について地域的な特色が見られ、その結果、柱のウエイトは、昭和55年度の調査では7%~17%となっている。

⑤ 造作

造作のウエイトは、柱との関連から4%~11%となっている。

⑥ 内壁、天井、床

内壁、天井及び床のウエイトはそれぞれ次のとおりである。

内 壁 9%~18%

天 井 4%~ 9%

床 10%~15%

⑦ 建具

部分別指数調査において述べたとおり、使用本数の少ない地域又は多い地域があり、建具のウエイトにはバラツキが見られるが、そのウエイトの全国的な平均は12%となっており、これを大きく上廻るものとして札幌市、名古屋市及び長崎市の16%、これを大きく下廻るものとして、松山市の7%がある。

⑧ その他工事

その他工事のウエイトは、特殊な場合を除き、5%～9%程度となっているが、全国的には6%程度となっているものが多い。

⑨ 建築設備

部分別指数調査において述べたとおり、その他の設備の設置状況によってそのウエイトが異なり、最高のもものでは13%、最低のもものでは6%となっており、ウエイトの10%のものが13団体、ウエイトの9%のものが6団体、ウエイトの8%のものが8団体となっている。

以上、各部分別にそのウエイトの状況を述べたものであるが、この傾向は、昭和53年度及び昭和54年度の調査結果においてもほぼ同様なものとなっている。

(6) まとめ

今回の調査は、各都市における中庸な専用住宅用建物に係る標準的な建築価額について聴取したものであるが、この調査は、時系列的に建築価額等の状況を地域別には握することを目的としているため、初年度である昭和53年度の調査方法を変更することなく行なわれているので、今回の調査においても①調査対象家屋の個数が各都市においてそれぞれ1棟と限定されたこと、②各都市において選定した中庸としての家屋の内容が統一的でないこと、③建築価額の調査に当たって、調査員の主観が入ること等のような問題点が含まれているものである。従って、この調査の結果のみによって建築価額の各地域間における地域差指数を確定することはできないが、この3年度間の調査によって、建築費の高い地方又は低い地方の傾向をは握することができたものと考えらる。

① 建築価額

建築価額については、昭和53年度調査では、東北、四国及び九州地方が低く、横浜市及び神戸市が高くなっており、昭和54年度調査では、北海道、東北及び九州地方が低く、浦和市、千葉市、横浜市、京都市及び神戸市が高くなっており、昭和55年度調査では、東北地方が低く、横浜市、

大津市、大阪市及び神戸市が高くなっている。又、3ヶ年平均値によれば、東北及び九州地方が低く、横浜市、大阪市及び神戸市が高くなっている。

② 修正建築価額

修正建築価額については、昭和53年度調査では、東北、四国及び九州地方が低く、横浜市及び神戸市が高くなっており、昭和54年度調査では、北海道、秋田市、山形市及び九州地方が低く、関東及び近畿地方が高くなっており、昭和55年度調査では、東北及び九州地方が低く、関東、近畿及び中国地方が高くなっている。又、3ヶ年平均値によれば、東北及び九州地方が低く、関東、近畿及び中国地方が高くなっている。

以上のことを取りまとめると次表のとおりである。

区分	年度等	低い地方等	高い地方等
建築価額	昭和53年度	東北地方、四国地方 九州地方	横浜市、神戸市
	54	北海道、東北地方 九州地方	浦和市、千葉市、横浜市 京都市、神戸市
	55	東北地方	横浜市、大津市 大阪市、神戸市
	3ヶ年平均	東北地方、九州地方	横浜市、大阪市 神戸市
修正建築価額	昭和53年度	東北地方、四国地方 九州地方	横浜市、神戸市
	54	北海道、秋田市 山形市、九州地方	関東地方、近畿地方
	55	東北地方、九州地方	関東地方、近畿地方 中国地方
	3ヶ年平均	東北地方、九州地方	関東地方、近畿地方 中国地方

以上の結果からみると、建築価額は、東北及び九州地方が、東京都（特別区）に比較して15%程度低くなっており、横浜市、大阪市及び神戸市が同10%程度高くなっている傾向が見受けられる。又、表1-10における3ヶ年平均分の物価水準段階別調査においても物価水準補正率0.9の地域に該当する東北、北陸、四国及び九州地方の建築価額は低く、物価水準補正率1.0の地域に該当する東京都（特別区）、横浜市及び神戸市の建築価額は高くなっており、前述のことを裏付けているものである。

建築価額の地域的な相違は、建物の地域的な構造差はもちろんのこと質的な相違も大きく影響し、さらに使用資材の価格差及び労務費（手間の掛け方の相違を含む。）並びに利潤の加え方を反映して生ずるものと考えられる。しかしながら、最近の木造建物に使用される仕上資材は、例えば、内壁仕上材では繊維壁、合成樹脂壁紙、ラワン合板等、天井仕上材では繊維板、布貼、金属板等の工業製品化資材が用いられ、資材価格については、このような工業製品化資材は、その価格に地域差の巾が少なく、建築価額の地域差の巾を小さくする傾向にあり、又、木造建物における建築構法は全国的にその構造の均一化が顕著に表われていることをも考えれば、今回の調査において表われた実際の建築価額の各都市間の相違は、建物の質的な相違及び労務賃金並びに利潤の加え方の相違が大きく反映しているものと考えられる。

木造建物の建築価額の地域差は、上記の要因がその主なものであるが、さらに加えて地域的な経済水準及び地域的な習慣からくる特色が表面化して表われるものでもあるので、建物の質を同一にして調査することは不可能に近いことを考えれば、建築価額の地域差の調査を目的としたこの調査方法は必ずしも不当なものとは考えられない。

従って、木造建物の建築価額の地域差について3ヶ年の調査結果から各都市間における具体的な地域差率を定めることはできないものではあるが、この調査研究では、おおむね建築価額の高い地方又は低い地方の傾向は十分に握ることができたものとする。

表 1 - 1 木造建物に係る

都道府 県名	指定市名	建 築 価 額					再 建 築 費 評 点 数				
		53年度	54年度	55年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	54年度	55年度
		指 数	指 数	指 数	53年度 54年度	54年度 55年度	指 数	指 数	指 数	53年度 54年度	54年度 55年度
北海道	札幌市	99	82	92	83	112	105	101	96	96	95
青森	青森市	70	86	81	123	94	96	93	86	97	92
岩手	盛岡市	81	84	79	104	94	96	91	83	95	91
宮城	仙台市	96	86	96	90	112	100	96	81	96	84
秋田	秋田市	77	76	73	99	96	95	90	84	95	93
山形	山形市	96	93	97	97	104	103	108	90	105	83
福島	福島市	87	86	83	99	97	97	96	89	99	93
茨城	水戸市	85	88	82	104	93	98	95	87	97	92
栃木	宇都宮市	82	84	94	102	112	99	98	91	99	93
群馬	前橋市	91	93	106	102	114	97	93	87	96	94
埼玉	浦和市	101	107	104	106	97	98	99	93	101	94
千葉	千葉市	97	109	101	112	93	97	100	92	103	92
東京	特別区	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
神奈川	横浜市	103	110	126	107	115	98	99	88	101	89
新潟	新潟市	84	84	85	100	101	88	100	88	114	88
富山	富山市	99	99	92	100	93	103	101	90	98	89
石川	金沢市	90	90	84	100	93	100	101	91	101	90
福井	福井市	93	96	103	103	107	97	99	86	102	87
山梨	甲府市	98	92	89	94	97	101	99	90	98	91
長野	長野市	78	82	95	105	116	94	93	87	99	94
岐阜	岐阜市	94	93	84	99	90	108	108	95	100	88
静岡	静岡市	101	84	107	83	127	104	97	95	93	98
愛知	名古屋	100	97	103	97	106	105	104	98	99	94
三重	津市	100	104	94	104	90	101	95	88	94	93
滋賀	大津市	94	89	110	95	124	99	93	84	94	90
京都	京都市	98	110	107	112	97	102	103	93	101	90

建築価額等指数前年比較表

修正建築価額					評 点 水 準		
53年度 指 数	54年度 指 数	55年度 指 数	54年度 53年度	55年度 54年度	昭和53年度 再建築費評点数 昭和53年建築価額	昭和54年度 再建築費評点数 昭和54年建築価額	昭和55年度 再建築費評点数 昭和55年建築価額
94	82	96	87	117	59	71	61
73	92	95	126	103	76	63	62
84	92	95	110	103	65	63	62
96	89	119	93	134	58	65	50
81	85	87	105	102	68	68	68
93	86	108	92	126	59	67	55
89	90	93	101	103	62	65	63
87	93	94	107	101	63	62	63
82	86	104	105	121	67	67	57
94	101	122	107	121	59	57	48
103	108	112	105	104	54	54	53
100	109	110	109	101	55	53	54
100	100	100	100	100	55	58	59
106	111	143	105	129	52	52	41
96	84	97	88	115	57	69	61
97	98	102	101	104	57	59	58
90	89	93	99	104	61	65	64
96	97	119	101	123	58	60	50
87	93	99	107	106	57	62	59
83	89	109	107	122	67	65	54
87	86	88	99	102	63	67	67
97	86	113	89	131	67	67	52
95	93	105	98	113	58	62	56
99	109	107	110	98	56	53	55
95	96	131	101	136	58	60	45
96	107	115	111	107	58	54	51

都道府県名	指定市名	建築価額					再建築費評点数				
		53年度	54年度	55年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	54年度	55年度
		指数	指数	指数	53年度	54年度	指数	指数	指数	53年度	54年度
大阪	大阪市	108	103	110	95	107	108	102	104	94	102
兵庫	神戸市	108	106	109	98	103	102	103	93	101	90
奈良	奈良市	101	101	95	100	94	100	92	88	92	96
和歌山	和歌山市	96	104	85	108	82	99	98	94	99	96
鳥取	鳥取市	93	93	86	100	92	96	95	86	99	91
島根	松江市	95	97	107	102	110	104	100	94	96	94
岡山	岡山市	97	93	96	96	103	102	96	91	94	95
広島	広島市	87	97	93	111	96	102	96	91	94	95
山口	山口市	91	100	96	110	96	102	95	78	93	82
徳島	徳島市	91	100	114	110	114	101	99	90	98	91
香川	高松市	83	90	102	108	113	98	95	92	97	97
愛媛	松山市	83	81	77	98	95	103	106	93	103	88
高知	高知市	90	93	86	103	92	95	100	88	105	88
福岡	福岡市	93	91	104	98	114	98	94	85	96	90
佐賀	佐賀市	84	79	82	94	104	97	90	86	93	96
長崎	長崎市	78	78	81	100	104	100	98	91	98	93
熊本	熊本市	82	87	82	106	94	95	99	88	104	89
大分	大分市	78	83	80	106	96	98	102	88	104	86
宮崎	宮崎市	97	94	94	97	100	99	96	90	97	94
鹿児島	鹿児島市	77	82	82	106	100	99	96	89	97	93
沖縄	那覇市	-	103	110	-	107	-	93	71	-	76
標準偏差値		8.9	9.0	11.2			3.7	4.3	5.4		
最 高	大阪市外1市	108	110	126			岐阜市外1市	岐阜市	大阪市の		
最 低	宍森市	70	76	73			新潟市	秋田市	那覇市		
平 均		91	93	95			100	98	89		
合 計											

修正建築価額					評点水準		
53年度 指数	54年度 指数	55年度 指数	54年度 53年度	55年度 54年度	昭和53年度 再建築費評点数 昭和53年建築価額	昭和54年度 再建築費評点数 昭和54年建築価額	昭和55年度 再建築費評点数 昭和55年建築価額
100	101	105	101	104	55	57	56
106	103	117	97	114	52	56	50
101	110	107	109	97	55	53	55
97	107	91	110	85	57	54	65
97	98	100	101	102	57	59	59
91	97	114	107	118	61	60	51
95	97	106	102	109	58	60	56
85	101	102	119	101	65	57	58
89	105	123	118	117	62	55	48
90	101	127	112	126	62	57	46
85	95	111	112	117	65	61	53
81	76	83	94	109	68	76	71
95	93	98	98	105	58	62	60
95	97	122	102	126	58	60	48
87	88	95	101	108	64	66	62
78	80	89	103	111	71	73	66
87	88	93	101	106	64	66	63
80	82	91	103	111	69	71	65
98	98	105	100	107	57	59	56
77	86	92	112	107	71	68	64
—	111	155	—	140	—	52	38
7.7 横浜市 外1市	9.0 横浜市 外1市	14.3 横浜市			5.3 脊森市	5.9 松山市	6.9 松山市
10.6 脊森市	11.1 松山市	14.3 松山市			7.6 横浜市外1市	7.6 横浜市外1市	7.1 那覇市
7.3	7.6	8.3			5.2	5.2	3.8
9.2	9.5	10.6			6.1	6.1	5.6
(那覇市を除く)							

表 1 - 2 木造建物に係る

都道府 県名	指定市名	建築価額		再建築費評点数	
		価額 (A)	指数 (東京=100) (B)	評点数 (C)	指数 (東京=100) (D)
北海道	札幌市	88,551	92	54,312	96
青森	青森市	78,181	81	48,624	86
岩手	盛岡市	75,600	79	47,018	83
宮城	仙台市	92,410	96	46,065	81
秋田	秋田市	70,105	73	47,637	84
山形	山形市	93,153	97	50,868	90
福島	福島市	79,600	83	50,515	89
茨城	水戸市	78,788	82	49,508	87
栃木	宇都宮市	90,853	94	51,412	91
群馬	前橋市	102,025	106	49,395	87
埼玉	浦和市	100,000	104	52,694	93
千葉	千葉市	96,922	101	52,265	92
東京	特別区	96,165	100	56,723	100
神奈川	横浜市	120,767	126	49,963	88
新潟	新潟市	81,741	85	49,708	88
富山	富山市	88,394	92	51,193	90
石川	金沢市	81,200	84	51,739	91
福井	福井市	98,745	103	48,904	86
山梨	甲府市	85,901	89	50,852	90
長野	長野市	90,900	95	49,148	87
岐阜	岐阜市	80,517	84	54,129	95
静岡	静岡市	103,030	107	53,632	95
愛知	名古屋市	99,065	103	55,599	98
三重	津市	90,400	94	50,009	88
滋賀	大津市	105,900	110	47,562	84
京都	京都市	103,000	107	52,943	93

建築価額等の状況調査

修正建築価額		再建築価額		
価額 (A) / (D) (E)	指数 (東京=100) (F)	一点単価(G)	価額 (C) × (G) (H)	(H) / (A)
92,241	96	1.05	57,028	64
90,908	95	0.945	45,950	59
91,084	95	0.945	44,432	59
114,086	119	0.9975	45,950	50
83,458	87	0.945	45,017	51
103,503	108	0.945	48,070	52
89,438	93	0.945	47,737	60
90,561	94	0.9975	49,384	63
99,838	104	0.9975	51,283	56
117,270	122	0.9975	49,272	48
107,527	112	0.9975	52,562	53
105,350	110	0.9975	52,134	54
96,165	100	1.05	59,559	62
137,235	143	1.05	52,461	43
92,888	97	0.945	46,974	57
98,216	102	0.945	48,377	55
89,231	93	0.945	48,893	60
114,820	119	0.945	46,214	47
95,446	99	0.945	48,055	56
104,483	109	0.945	46,445	51
84,755	88	0.945	51,152	64
108,453	113	0.9975	53,498	52
101,087	105	1.05	58,379	59
102,727	107	0.9975	49,884	55
126,071	131	0.9975	47,443	45
110,753	115	1.05	55,590	54

都道府名	指定市名	建築価額		再建築費評点数	
		価額 (A)	指数 (東京=100) (B)	評点数 (C)	指数 (東京=100) (D)
大阪	大阪市	105,408	110	58,995	104
兵庫	神戸市	104,500	109	52,747	93
奈良	奈良市	90,900	95	49,905	88
和歌山	和歌山市	82,000	85	53,323	94
鳥取	鳥取市	82,645	86	48,681	86
島根	松江市	103,110	107	53,099	94
岡山	岡山市	92,774	96	51,681	91
広島	広島市	89,559	93	51,819	91
山口	山口市	92,000	96	44,097	78
徳島	徳島市	110,000	114	50,824	90
香川	高松市	98,000	102	52,167	92
愛媛	松山市	74,142	77	52,712	93
高知	高知市	83,000	86	49,972	88
福岡	福岡市	99,822	104	48,372	85
佐賀	佐賀市	78,508	82	48,986	86
長崎	長崎市	78,000	81	51,461	91
熊本	熊本市	79,000	82	49,668	88
大分	大分市	77,000	80	50,024	88
宮崎	宮崎市	90,750	94	50,825	90
鹿児島	鹿児島市	78,800	82	50,352	89
沖縄	那覇市	106,061	110	40,516	71
標準偏差値			11.1		5.4
最	高	横浜市	126	大阪市	104
最	低	秋田市	73	那覇市	71
平	均		95		89

修正建築価額		再建築価額		
価額 (A) / (D) (E)	指数 (東京=100) (F)	一点単価(G)	価額 (C) × (G) (H)	(H) / (A)
101,354	105	1.05	61,945	59
112,366	117	1.05	55,384	53
103,295	107	0.9975	49,780	55
87,234	91	0.9975	53,190	65
96,099	100	0.945	46,004	56
109,691	114	0.945	50,179	49
101,949	106	0.9975	51,552	56
98,416	102	0.9975	51,689	58
117,949	123	0.945	41,672	45
122,222	127	0.945	48,029	44
106,522	111	0.945	49,298	50
79,723	83	0.945	49,813	67
94,318	98	0.945	47,224	57
117,438	122	1.05	50,791	51
91,288	95	0.945	46,292	59
85,714	89	0.945	48,631	62
89,773	93	0.945	46,936	59
87,500	91	0.945	47,273	61
100,833	105	0.945	48,030	53
88,539	92	0.945	47,582	60
149,382	155	0.945	38,288	36
	143			6.4
那覇市	155	大阪市	61,945	松山市 67
松山市	83	那覇市	38,288	那覇市 36
	106		49,602	55

表 1-3 木造建物に係る建築価額等の段階別状況調査

区 分	建 築 価 額		修 正 建 築 価 格	
	指定市数	指 定 市 名	指定市数	指 定 市 名
70,000~74,999円	2	秋田市・松山市	1	松山市
75,000~79,999円	9	青森市・盛岡市・福島市・水戸市・佐賀市 長崎市・熊本市・大分市・鹿児島市	2	秋田市・岐阜市
80,000~84,999円	6	新潟市・金沢市・岐阜市・和歌山市・鳥取市 高知市	7	福島市・金沢市・和歌山市・長崎市・熊本市 大分市・鹿児島市
85,000~89,999円	4	札幌市・富山市・甲府市・広島市	7	札幌市・青森市・盛岡市・水戸市・新潟市 高知市・佐賀市
90,000~94,999円	9	仙台市・山形市・宇都宮市・長野市・津市 奈良市・岡山市・山口市・宮崎市	6	宇都宮市・東京都特別区・富山市・甲府市 鳥取市・広島市
95,000~99,999円	6	千葉市・東京都特別区・福井市・名古屋市 高松市・福岡市	8	山形市・長野市・名古屋市・津市・大阪市 奈良市・岡山市・宮崎市
100,000~104,999円	6	前橋市・浦和市・静岡市・京都市・神戸市 松江市	5	浦和市・千葉市・静岡市・松江市・高松市
105,000~109,999円	3	大津市・大阪市・那覇市	4	仙台市・福井市・京都市・神戸市
110,000~114,999円	1	徳島市	3	前橋市・山口市・福岡市
115,000~119,999円	1	横浜市	1	徳島市
120,000~124,999円	1	横浜市	1	大津市
125,000~129,999円			1	横浜市
130,000~134,999円			1	那覇市
135,000~139,999円				
140,000~144,999円				
145,000~149,999円				
合 計	47		47	

表1-4 木造建物に係る建築価額等の物価水準別調査

都 府 名	物 価 水 準 1.00			物 価 水 準 0.95			物 価 水 準 0.90		
	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費 者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費 者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費 者 物価指数
北海道	88,551	9,241	94.3				78,181	9,098	91.2
青森県				92,410	114,086	95.1	75,600	91,084	90.3
岩手県							70,105	83,458	90.9
宮城県				78,788	90,561	92.4	93,153	103,503	94.2
秋田県				90,853	99,838	90.3	79,600	89,438	90.2
山形県				102,025	117,270	90.2			
福島県				100,000	107,527	94.5			
茨城県				96,922	105,350	94.4			
栃木県	96,165	96,165	100.0						
群馬県	120,767	137,235	96.7						
埼玉県							81,741	92,888	93.1
千葉県							88,394	98,216	92.2
東京都							81,200	89,231	91.8
神奈川県							98,745	114,820	90.5
新潟県							85,901	95,446	90.6
富山県							90,900	104,483	90.2
石川県				103,030	108,453	94.3	80,517	84,755	92.2
福井県									
山梨県									
長野県									
岐阜県									
静岡県	99,065	101,087	94.4	90,400	102,727	89.7			
愛知県				105,900	126,071	93.4			
三重県	103,000	110,753	96.5						
滋賀県									
京都府									

都道府県	指定市名	物価水準 1.00			物価水準 0.95			物価水準 0.90		
		建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数
大阪府	大阪市	105,408	101,354	94.9						
	神戸市	104,500	112,366	95.3	90,900	103,295	94.4			
兵庫県	三木市				82,000	87,234	93.6	82,645	96,099	90.1
	和歌山市							103,110	109,691	90.7
鳥取県	鳥取市				92,774	101,949	93.4			
	根島市				89,559	98,416	92.4			
岡山県	岡山市							92,000	117,949	90.8
	山崎町							110,000	122,222	93.0
広島県	広島市							98,000	106,522	90.7
	川原町							74,142	79,723	91.4
徳島県	徳島市							83,000	94,318	92.1
	高松市									
香川県	高松市							78,508	91,288	89.5
	愛媛市							78,000	85,714	90.5
高知県	高知市							79,000	89,773	91.6
	岡崎市							77,000	87,500	89.5
福岡県	福岡市	99,822	117,438	93.3				90,750	100,833	89.2
	佐賀市							78,800	88,539	92.3
長門県	長門市							106,061	149,382	91.3
	熊本市									
大分県	大分市							9,715	14,509	1.2
	宮崎市							徳島市	徳島市	山形市
宮崎県	宮崎市							110,000	122,222	94.2
	鹿儿岛市							秋田市	松山市	宮崎市
沖縄県	那覇市							70,105	79,723	89.2
	那覇市							8,640	99,182	91.2
標準偏差	高	8,654	13,454	1.9	7,649	10,026	1.7	9,715	14,509	1.2
最	高	横浜市	横浜市	東京都特別区	大津市	前橋市	仙台市	徳島市	徳島市	山形市
最	低	120,767	137,235	100.0	105,900	117,270	95.1	110,000	122,222	94.2
平	均	札幌市	札幌市	福岡市	水戸市	和歌山市	津市	秋田市	松山市	宮崎市
		88,551	92,241	93.3	78,788	87,234	89.7	70,105	79,723	89.2
		102,160	108,580	96.0	93,505	104,829	93.0	8,640	99,182	91.2

(那覇市を除く)

※ 消費者物価指数は総理府統計局編集(消費者物価指数年報)参考

表 1 - 5 木造建物に係る部分別 (主要部分) 指数調査

特別区 = 100

都道府名	指定市名	屋根	基礎	外壁	柱	内壁	天井	建具	建築設備
北海道	札幌市	44	125	101	75	108	71	133	103
青森	青森市	53	100	106	110	90	72	67	55
岩手	盛岡市	56	100	88	56	95	86	102	73
宮城	仙台市	59	100	73	74	116	87	69	57
秋田	秋田市	50	100	78	72	96	78	102	73
山形	山形市	53	100	81	118	92	83	88	80
福島	福島市	93	100	62	64	86	94	93	113
茨城	水戸市	100	75	67	56	105	89	102	68
栃木	宇都宮市	80	100	82	91	93	87	88	80
群馬	前橋市	93	75	65	69	94	81	95	93
埼玉	浦和市	93	75	71	116	79	77	93	85
千葉	千葉市	89	75	101	73	138	76	82	80
東京	特別区	100	100	100	100	100	100	100	100
神奈川	横浜市	98	75	68	94	87	65	93	97
新潟	新潟市	65	100	82	72	89	100	102	95
富山	富山市	98	100	92	72	96	104	74	96
石川	金沢市	98	100	88	90	85	67	74	125
福井	福井市	98	75	67	72	112	93	93	57
山梨	甲府市	100	75	68	78	98	84	93	98
長野	長野市	67	100	78	86	72	94	102	70
岐阜	岐阜市	100	100	86	128	82	78	93	60
静岡	静岡市	100	75	69	119	93	82	86	63
愛知	名古屋市	80	100	55	124	113	66	134	82
三重	津市	100	75	70	83	116	55	78	94
滋賀	大津市	100	100	64	89	78	76	76	58
京都	京都市	98	100	77	115	113	52	93	74

特別区 = 100

都道府名	指定市名	屋根	基礎	外壁	柱	内壁	天井	建具	建築設備
大阪	大阪市	100	75	106	120	138	54	83	97
兵庫	神戸市	100	75	65	75	120	88	93	91
奈良	奈良市	100	100	74	70	105	84	93	78
和歌山	和歌山市	98	100	49	147	70	89	93	57
鳥取	鳥取市	100	100	83	110	89	69	65	66
島根	松江市	100	100	71	84	113	73	89	104
岡山	岡山市	100	100	70	78	96	89	93	87
広島	広島市	95	75	83	62	106	66	87	105
山口	山口市	100	100	60	48	82	51	72	88
徳島	徳島市	93	75	77	73	108	75	83	107
香川	高松市	100	100	59	85	106	102	93	90
愛媛	松山市	98	75	80	71	120	110	59	108
高知	高知市	63	100	68	85	104	77	73	116
福岡	福岡市	100	100	62	69	90	60	102	85
佐賀	佐賀市	65	100	75	68	65	82	111	99
長崎	長崎市	65	75	50	113	84	87	130	60
熊本	熊本市	65	100	65	74	92	94	93	113
大分	大分市	65	100	76	81	98	92	67	123
宮崎	宮崎市	93	100	62	76	104	91	93	100
鹿児島	鹿児島市	65	100	68	88	101	65	99	100
沖縄	那覇市	64	100	62	74	74	38	81	47
標準偏差値		18.1	13.0	13.6	21.6	15.8	15.2	15.9	19.5
最高		水戸市 外15市	札幌市	青森市 外1市	和歌山市	千葉市 外1市	松山市	名古屋市	金沢市
		100	125	106	147	138	110	134	125
最低		札幌市	水戸市 外14市	和歌山市	山口市	佐賀市	那覇市	松山市	那覇市
		44	75	49	48	65	38	59	47
平均		85	93	75	86	98	79	91	86

表 1 - 6 木造建物に係る

都道府県名	指定市名	屋 根			基 礎			外 壁			柱			造 作		
		53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度
北海道	札幌市	6	7	5	6	6	4	11	10	12	9	7	9	6	5	6
青森	青森市	7	6	7	3	4	4	11	13	14	15	13	14	10	8	9
岩手	盛岡市	8	9	8	4	4	4	11	14	12	6	7	7	5	5	5
宮城	仙台市	12	9	8	4	4	4	8	7	10	7	10	10	5	7	7
秋田	秋田市	7	9	7	4	5	4	11	11	10	10	9	9	6	6	6
山形	山形市	9	6	7	3	4	3	9	11	10	8	13	15	5	9	9
福島	福島市	12	11	12	3	4	4	8	8	8	8	8	8	5	5	5
茨城	水戸市	8	7	13	3	4	3	10	8	8	8	7	7	5	5	5
栃木	宇都宮市	10	12	10	3	4	3	8	9	10	10	13	11	6	8	6
群馬	前橋市	12	12	12	3	3	3	8	8	8	6	8	9	5	6	7
埼玉	浦和市	9	11	12	3	3	3	9	7	8	10	13	14	6	8	9
千葉	千葉市	12	12	11	3	4	3	8	11	12	9	8	9	6	6	5
東京	特別区	11	12	11	3	3	3	8	9	11	9	8	11	6	6	6
神奈川	横浜市	11	12	13	4	3	3	9	8	8	10	9	12	7	7	7
新潟	新潟市	9	11	9	4	5	4	6	12	10	10	8	9	6	5	6
富山	富山市	12	12	12	3	3	3	10	8	11	7	9	9	5	7	6
石川	金沢市	13	13	12	3	3	3	5	7	11	10	8	11	7	6	6
福井	福井市	13	11	13	3	3	3	9	8	9	8	10	9	5	6	6
山梨	甲府市	10	11	13	3	3	3	8	7	8	10	11	10	7	7	7
長野	長野市	10	8	9	4	4	4	9	9	10	8	10	11	5	6	7
岐阜	岐阜市	12	11	12	2	3	3	7	7	10	15	18	15	10	12	10
静岡	静岡市	13	12	12	2	3	2	8	9	8	11	13	14	7	6	9
愛知	名古屋市	12	10	9	3	5	3	9	9	6	13	13	14	8	7	9
三重	津市	9	13	13	4	3	3	10	8	9	8	12	10	7	8	6
滋賀	大津市	13	14	14	4	4	4	10	10	8	11	11	12	7	7	8
京都	京都市	12	12	12	4	3	3	7	8	9	11	15	14	8	6	8

部 別 ウ エ イ ト に 関 す る 調 査

再建築費評点数=100

内 壁			天 井			床			建 具			その他工事			建 築 設 備		
53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度
13	16	14	6	7	6	12	14	12	16	12	16	7	7	8	8	9	10
11	13	13	6	7	7	12	12	11	12	9	9	6	7	7	7	8	6
17	15	14	6	6	8	16	12	13	14	13	14	7	6	7	6	9	8
20	17	17	7	7	9	12	14	13	12	12	10	6	6	6	7	7	6
15	13	14	7	6	7	13	13	15	13	14	14	7	6	6	7	8	8
18	14	13	8	8	7	14	12	12	12	10	11	6	5	6	8	8	8
15	12	12	7	10	8	13	11	11	13	12	12	7	9	9	9	10	12
12	14	15	7	8	8	15	13	15	12	12	13	11	12	6	9	10	7
15	11	12	8	6	8	13	13	12	12	11	11	6	6	8	9	7	8
16	15	13	8	8	7	13	13	12	12	12	13	6	6	7	11	9	10
13	13	10	8	5	7	13	12	12	12	13	11	6	7	6	11	8	8
17	15	18	5	6	7	13	12	12	13	11	10	6	6	6	8	9	8
17	18	12	7	6	8	12	12	11	12	11	11	6	6	5	8	9	9
11	12	12	6	7	6	12	12	12	12	12	12	6	8	6	12	10	10
13	15	12	8	7	9	12	12	12	14	9	13	7	6	6	11	10	10
16	10	13	8	10	9	11	12	11	11	11	9	6	6	6	11	12	10
13	14	11	9	9	6	12	11	11	12	11	9	6	7	6	10	11	13
15	14	16	9	12	9	11	13	12	13	12	12	6	6	6	8	5	6
15	11	13	7	7	7	12	12	11	12	16	12	6	6	6	10	9	10
19	13	10	7	9	9	12	12	12	13	14	13	6	9	8	7	6	7
14	9	10	8	7	6	10	10	11	11	11	11	5	5	5	6	7	6
12	11	12	7	6	7	13	12	12	12	9	10	6	7	7	9	12	6
13	16	14	6	5	5	10	10	10	12	11	16	6	5	5	8	9	8
18	13	16	7	5	5	12	12	13	10	11	10	6	5	6	9	10	10
13	13	11	5	5	7	12	13	13	11	9	10	5	6	6	9	8	6
14	16	15	8	5	4	12	12	11	12	10	11	6	5	6	6	8	7

都道府県名	指定市名	屋 根			基 礎			外 壁			柱			造 作		
		53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度
大 阪	大阪市	12	12	11	2	2	2	7	6	11	13	12	13	9	8	7
兵 庫	神戸市	12	16	12	3	3	3	9	8	8	6	11	9	5	7	6
奈 良	奈良市	13	12	13	2	4	4	8	8	9	11	10	9	7	7	6
和 歌 山	和歌山市	13	9	12	4	3	3	8	7	6	10	13	17	5	9	11
鳥 取	鳥取市	13	11	13	4	4	4	7	9	11	13	12	14	8	9	8
島 根	松江市	13	15	12	3	4	3	8	9	8	11	7	10	7	5	7
岡 山	岡山市	13	9	13	4	4	3	9	8	8	9	10	10	6	6	6
広 島	広島市	12	12	12	3	3	3	10	11	10	8	8	8	5	5	6
山 口	山口市	13	16	15	4	5	4	9	8	8	11	6	7	7	5	4
徳 島	徳島市	7	7	12	4	4	3	10	10	9	11	12	9	7	8	6
香 川	高松市	7	12	12	4	4	3	8	7	7	7	9	10	5	6	7
愛 媛	松山市	7	7	12	4	4	3	7	8	9	14	13	9	9	8	5
高 知	高知市	8	8	8	4	3	4	8	7	8	10	10	11	6	6	7
福 岡	福岡市	13	11	13	4	4	4	8	11	8	9	8	9	5	6	6
佐 賀	佐賀市	13	9	9	4	4	4	8	8	10	8	9	9	5	6	7
長 崎	長崎市	9	8	8	3	3	3	8	9	6	10	9	14	7	6	9
熊 本	熊本市	9	8	9	4	3	4	9	10	8	9	9	9	6	6	6
大 分	大分市	9	12	8	3	4	4	8	8	9	11	9	10	7	6	7
宮 崎	宮崎市	10	13	12	4	4	3	8	8	8	11	11	9	7	7	6
鹿 児 島	鹿児島市	10	10	8	4	4	4	8	6	8	11	10	11	7	6	7
沖 縄	那覇市	-	16	10	-	4	4	-	6	10	-	9	11	-	6	7
標準個値		2.2	2.5	2.2	0.7	0.7	0.6	1.3	1.8	1.7	2.2	2.4	2.4	1.3	1.4	1.4
最 高	金沢市外11市 神戸市外2市 山口市				札幌市	札幌市	札幌市外18市	札幌市外3市	盛岡市	青森市	青森市外1市	岐阜市	和歌山市	青森市外1市	岐阜市	和歌山市
最 低	札幌市 青森市外1市	13	16	15	6	6	4	11	14	14	15	18	17	10	12	11
	札幌市 岐阜市外3市 大阪市 静岡市外1市 金沢市 大阪市外2市 名古屋外2市	6	6	5	2	2	2	5	6	6	6	6	7	5	5	4
平 均		11	11	11	2	4	3	9	9	9	10	10	11	6	7	7

内 壁			天 井			床			建 具			その他工事			建築設備		
53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度	53年度	54年度	55年度
14	11	16	5	6	4	12	12	11	11	11	9	6	6	7	9	14	9
19	10	16	7	6	8	12	12	12	12	12	11	7	6	7	8	9	9
14	13	14	7	7	8	14	13	12	12	13	12	6	6	6	6	7	8
13	12	9	8	8	8	13	13	11	12	12	11	5	6	6	9	8	6
9	14	13	7	5	6	12	11	11	12	11	9	6	6	5	9	8	7
14	15	15	6	5	6	12	12	12	12	11	11	6	6	6	8	11	10
13	14	13	8	8	8	14	14	13	11	11	12	6	6	6	7	10	9
14	15	14	7	7	6	13	12	13	9	10	11	6	6	7	13	11	10
11	12	13	6	6	5	11	12	13	12	11	11	6	8	9	10	11	10
15	15	15	6	7	7	11	11	12	12	10	11	7	5	6	10	11	11
17	15	14	8	8	9	14	12	11	12	12	12	6	6	6	12	9	9
11	12	16	9	8	9	12	11	12	12	11	7	6	10	7	9	8	11
11	14	14	9	9	7	12	13	13	13	10	10	7	6	6	12	14	12
17	14	13	5	5	6	12	11	12	10	16	14	6	6	7	11	8	9
10	10	9	8	8	8	13	12	13	13	17	15	8	8	8	10	9	10
12	13	11	7	9	8	12	11	11	17	17	16	9	8	8	6	7	6
13	17	13	9	7	8	13	14	13	13	12	12	7	6	6	8	8	12
12	15	14	8	6	8	13	12	13	12	11	9	6	6	6	11	11	13
14	11	14	6	5	8	12	13	11	12	12	12	6	6	6	10	10	10
13	12	14	8	5	6	12	11	13	12	20	13	7	6	6	8	10	10
-	18	13	-	5	4	-	14	15	-	10	13	-	6	6	-	6	6
25	21	20	1.1	1.6	1.4	1.1	1.0	1.1	1.3	2.2	2.0	1.0	1.3	0.94	1.8	1.9	2.0
仙台市	特別区 外1市	千葉市	金沢市 外4市	福井市	仙台市 外6市	盛岡市	札幌市 外4市	秋田市 外2市	長崎市	鹿児島 市	札幌市 外2市	水戸市	水戸市	福島市 外1市	広島市	大阪市 外1市	金沢市 外1市
20	18	18	9	12	9	16	14	15	17	20	16	11	12	9	13	14	13
鳥取市	岐阜市	和歌山 市外1 市	千葉市 外3市	福和市 外10市	京都市 外2市	岐阜市 外1市	岐阜市 外1市	名古屋市	広島市	青森市 外3市	松山市	岐阜市 外2市	山形市 外5市	特別区 外3市	盛岡市 外4市	福井市	青森市 外8市
9	9	9	5	5	4	10	10	10	9	9	7	5	5	5	6	5	6
14	14	13	7	7	7	12	12	12	12	12	12	6	6	6	9	9	9

表 1 - 7 木造建物に係る部分別

都道府県	指定市名	屋 根		基 礎		外 壁		柱	
		評点数	特別区 =100	評点数	特別区 =100	評点数	特別区 =100	評点数	特別区 =100
北海道	札幌市	2,874	44	2,214	125	6,300	101	4,716	75
青森	青森市	3,420	53	1,776	100	6,625	106	6,908	110
岩手	盛岡市	3,642	56	1,776	100	5,486	88	3,505	56
宮城	仙台市	3,825	59	1,776	100	4,542	73	4,655	74
秋田	秋田市	3,252	50	1,776	100	4,884	78	4,506	72
山形	山形市	3,420	53	1,776	100	5,064	81	7,418	118
福島	福島市	6,049	93	1,776	100	3,850	62	4,007	64
茨城	水戸市	6,504	100	1,326	75	4,200	67	3,520	56
栃木	宇都宮市	5,219	80	1,776	100	5,120	82	5,720	91
群馬	前橋市	6,036	93	1,326	75	4,042	65	4,365	69
埼玉	浦和市	6,074	93	1,326	75	4,450	71	7,284	116
千葉	千葉市	5,817	89	1,326	75	6,326	101	4,616	73
東京	特別区	6,504	100	1,776	100	6,248	100	6,294	100
神奈川	横浜市	6,348	98	1,326	75	4,220	68	5,927	94
新潟	新潟市	4,248	65	1,776	100	5,109	82	4,506	72
富山	富山市	6,348	98	1,776	100	5,721	92	4,512	72
石川	金沢市	6,348	98	1,776	100	5,507	88	5,683	90
福井	福井市	6,348	98	1,326	75	4,207	67	4,512	72
山梨	甲府市	6,504	100	1,326	75	4,235	68	4,920	78
長野	長野市	4,345	67	1,776	100	4,896	78	5,398	86
岐阜	岐阜市	6,504	100	1,776	100	5,400	86	8,058	128
静岡	静岡市	6,504	100	1,326	75	4,310	69	7,517	119
愛知	名古屋市	5,205	80	1,776	100	3,450	55	7,835	124
三重	津市	6,504	100	1,326	75	4,376	70	5,204	83
滋賀	大津市	6,504	100	1,776	100	3,971	64	5,595	89
京都	京都市	6,348	98	1,776	100	4,810	77	7,242	115

(主要部分) 評点数の状況調査

内 壁		天 井		建 具		建 築 設 備	
評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100
7,436	108	3,195	71	8,668	133	5,356	103
6,225	90	3,242	72	4,334	67	2,877	55
6,564	95	3,882	86	6,622	102	3,813	73
7,982	116	3,948	87	4,454	69	2,937	57
6,662	96	3,516	78	6,622	102	3,781	73
6,360	92	3,746	83	5,719	88	4,145	80
5,912	86	4,227	94	6,020	93	5,893	113
7,260	105	4,028	89	6,622	102	3,515	68
6,391	93	3,910	87	5,719	88	4,165	80
6,484	94	3,676	81	6,200	95	4,831	93
5,460	79	3,457	77	6,020	93	4,410	85
9,499	138	3,448	76	5,357	82	4,170	80
6,908	100	4,513	100	6,501	100	5,197	100
5,995	87	2,925	65	6,020	93	5,048	97
6,132	89	4,532	100	6,622	102	4,926	95
6,647	96	4,696	104	4,816	74	5,013	96
5,905	85	3,042	67	4,816	74	6,471	125
7,734	112	4,211	93	6,020	93	2,945	57
6,736	98	3,796	84	6,020	93	5,091	98
4,990	72	4,242	94	6,622	102	3,646	70
5,661	82	3,499	78	6,020	93	3,135	60
6,445	93	3,689	82	5,598	86	3,276	63
7,785	113	2,968	66	8,704	134	4,273	82
8,015	116	2,493	55	5,056	78	4,907	94
5,415	78	3,444	76	4,936	76	2,993	58
7,788	113	2,344	52	6,020	93	3,840	74

都道府名	指定市名	屋 根		基 礎		外 壁		柱	
		評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100
大 阪	大阪市	6,504	100	1,326	75	6,601	106	7,577	120
兵 庫	神戸市	6,504	100	1,326	75	4,070	65	4,744	75
奈 良	奈良市	6,504	100	1,776	100	4,620	74	4,386	70
和 歌 山	和歌山市	6,348	98	1,776	100	3,060	49	9,237	147
鳥 取	鳥取市	6,504	100	1,776	100	5,190	83	6,873	109
島 根	松江市	6,504	100	1,776	100	4,444	71	5,312	84
岡 山	岡山市	6,504	100	1,776	100	4,368	70	4,916	78
広 島	広島市	6,192	95	1,326	75	5,180	83	3,927	62
山 口	山口市	6,504	100	1,776	100	3,748	60	3,047	48
徳 島	徳島市	6,036	93	1,326	75	4,800	77	4,600	73
香 川	高松市	6,504	100	1,776	100	3,700	59	5,355	85
愛 媛	松山市	6,389	98	1,326	75	5,005	80	4,499	71
高 知	高知市	4,067	63	1,776	100	4,232	68	5,351	85
福 岡	福岡市	6,504	100	1,776	100	3,885	62	4,370	69
佐 賀	佐賀市	4,242	65	1,776	100	4,700	75	4,288	68
長 崎	長崎市	4,200	65	1,326	75	3,105	50	7,130	113
熊 本	熊本市	4,242	65	1,776	100	4,031	65	4,665	74
大 分	大分市	4,242	65	1,776	100	4,736	76	5,081	81
宮 崎	宮崎市	6,041	93	1,776	100	3,850	62	4,764	76
鹿 児 島	鹿児島市	4,242	65	1,776	100	4,255	68	5,552	88
沖 縄	那覇市	4,140	64	1,776	100	3,883	62	4,640	74
標準偏差値			18.1		12.5		13.6		21.6
最 高	水戸市 外15市	100		札幌市	125	青森市 外1市	106	和歌山市	147
最 低	秋田市	50		水戸市 外14市	75	和歌山市	49	盛岡市 外1市	56
平 均		85			93		75		86

内 壁		天 井		建 具		建 築 設 備	
評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100	評 点 数	特別区 =100
9,555	138	2,459	54	5,418	83	5,044	97
8,239	119	3,969	88	6,020	93	4,708	91
7,230	105	3,772	84	6,020	93	4,031	78
4,840	70	4,035	89	6,020	93	2,956	57
6,145	89	3,113	69	4,214	65	3,409	66
7,787	113	3,305	73	5,779	89	5,393	104
6,656	96	4,004	89	6,020	93	4,531	87
7,317	106	2,997	66	5,658	87	5,433	105
5,691	82	2,311	51	4,695	72	4,563	88
7,469	108	3,364	75	5,418	83	5,577	107
7,330	106	4,617	102	6,020	93	4,666	90
8,294	120	4,984	110	3,852	59	5,620	108
7,174	104	3,497	77	4,755	73	6,054	116
6,200	90	2,727	60	6,622	102	4,397	85
4,491	65	3,704	82	7,224	111	5,134	99
5,800	84	3,915	87	8,463	130	3,134	60
6,324	92	4,220	94	6,020	93	5,894	113
6,792	98	4,159	92	4,334	67	6,368	123
7,200	104	4,102	91	6,020	93	5,208	100
6,947	101	2,953	65	6,448	99	5,191	100
5,087	74	1,701	38	5,291	81	2,461	47
	15.7		15.2		15.9		19.5
千葉市 外1市	138	松山市	110	名古屋市	134	金沢市	125
佐賀市	65	那覇市	38	松山市	59	那覇市	47
	98		7.9		91		86

表1-8 木造建物に係る建築

都道府 県名	指定市名	建築価額(A)					再建築費評点数(B)				
		53年度 価額	54年度 価額	55年度 価額	平均	指数 東京 =100	53年度 価額	54年度 価額	55年度 価額	平均	指数 東京 =100
北海道	札幌市	88,696	74,961	88,551	84,069	91	62,676	53,197	54,312	56,728	101
青森	青森市	62,660	78,098	78,181	72,979	79	57,240	48,993	48,624	51,619	92
岩手	盛岡市	72,800	76,000	75,600	74,800	81	57,097	47,973	47,018	50,696	90
宮城	仙台市	86,000	77,861	92,410	85,423	92	59,852	50,312	46,065	52,076	93
秋田	秋田市	68,900	69,500	70,105	69,502	75	56,502	47,190	47,637	50,443	90
山形	山形市	86,500	84,800	93,153	88,151	95	61,204	56,611	50,868	56,227	100
福島	福島市	78,000	78,500	79,600	78,700	85	58,010	50,636	50,515	53,053	94
茨城	水戸市	76,800	80,000	78,788	78,529	85	58,494	49,704	49,508	52,568	93
栃木	宇都宮市	73,507	76,472	90,853	80,277	87	59,262	51,588	51,412	54,087	96
群馬	前橋市	82,000	85,000	102,025	89,675	97	57,925	48,697	49,395	52,005	92
埼玉	浦和市	90,840	96,970	100,000	95,936	104	58,766	51,919	52,694	54,459	97
千葉	千葉市	87,000	98,845	96,922	94,255	102	57,792	52,435	52,265	54,164	96
東京	特別区	90,000	90,916	96,165	92,360	100	59,672	52,476	56,723	56,290	100
神奈川	横浜市	93,100	100,000	120,767	104,622	113	58,225	51,818	49,963	53,335	95
新潟	新潟市	76,000	76,000	81,741	77,913	84	52,291	52,309	49,708	51,436	91
富山	富山市	89,473	90,000	88,394	89,289	97	61,591	52,817	51,193	55,200	98
石川	金沢市	81,000	81,800	81,200	81,333	88	59,665	52,843	51,739	54,749	97
福井	福井市	83,500	86,980	98,745	89,741	97	57,691	51,899	48,904	52,831	94
山梨	甲府市	88,061	83,921	85,901	85,961	93	60,508	51,753	50,852	54,371	97
長野	長野市	70,000	75,000	90,900	78,633	85	56,073	48,606	49,148	51,275	91
岐阜	岐阜市	84,848	84,623	80,517	83,329	90	64,618	56,811	54,129	58,519	104
静岡	静岡市	90,605	76,072	103,030	89,902	97	62,054	50,914	53,632	55,533	99
愛知	名古屋市	90,000	88,000	99,065	92,355	100	62,396	54,754	55,599	57,583	102
三重	津市	90,000	94,526	90,400	91,642	99	60,085	49,995	50,009	53,363	95
滋賀	大津市	84,500	81,051	105,900	90,483	98	58,852	48,647	47,562	51,687	92
京都	京都市	88,000	100,000	103,000	97,000	105	60,896	54,147	52,943	55,995	99

価額等の状況調査（3ヶ年平均）

修正建築価額 (C)					再建築価額 (D)					
53年度価額 (A/B指数) (円)	54年度価額 (A/B指数) (円)	55年度価額 (A/B指数) (円)	平均	指数 東京 =100	一点単価	53年度価額	54年度価額	55年度価額	平均	(D)/(A)
84,472	74,219	92,241	83,644	91	1.05	65,810	55,857	57,028	59,549	71
65,271	83,976	90,908	80,051	87	0.945	54,092	46,298	45,950	48,780	67
75,883	83,516	91,084	83,494	90	0.945	53,956	45,334	44,432	47,907	64
86,000	81,105	114,086	93,730	101	0.9975	59,702	50,186	45,950	51,946	61
72,526	77,222	83,458	77,735	84	0.945	53,394	44,595	45,017	47,668	63
83,931	78,519	103,503	88,667	96	0.945	57,837	53,497	48,070	53,134	60
80,412	81,771	89,438	83,873	91	0.945	61,386	47,851	47,736	52,324	66
78,367	84,211	90,561	84,379	91	0.9975	58,348	49,580	49,384	52,437	67
74,249	78,033	99,838	84,040	91	0.9975	59,114	51,459	51,283	53,952	67
84,536	91,398	117,270	97,734	106	0.9975	57,780	48,575	49,272	51,875	58
92,694	97,949	107,527	99,390	108	0.9975	58,619	51,789	52,562	54,323	57
89,691	98,845	105,350	97,962	106	0.9975	57,648	52,304	52,134	54,028	57
90,000	90,916	96,165	92,360	100	1.05	62,656	55,100	58,559	59,105	64
95,000	101,010	137,235	111,081	120	1.05	61,136	54,409	52,461	56,002	54
86,364	76,000	92,888	85,084	92	0.945	49,415	49,432	46,974	48,607	62
86,867	89,109	98,216	91,397	99	0.945	58,203	49,912	48,377	52,164	58
81,000	80,990	89,231	83,740	91	0.945	56,383	49,937	48,893	51,737	64
86,082	87,859	114,820	96,253	104	0.945	54,518	49,045	46,214	49,925	56
87,189	84,769	95,446	89,134	97	0.945	57,180	48,907	48,055	51,380	60
74,468	80,645	104,483	86,532	94	0.945	52,989	45,933	46,445	48,455	62
78,563	78,355	84,755	80,557	87	0.945	61,064	53,686	51,152	55,300	66
87,120	78,425	108,453	91,332	99	0.9975	61,899	50,787	53,498	55,394	62
85,714	84,615	101,087	90,472	98	1.05	65,516	57,492	58,379	60,462	65
89,109	99,501	102,767	97,112	105	0.9975	59,935	49,870	49,884	53,229	58
85,354	87,152	126,071	99,525	108	0.9975	58,705	48,525	47,443	51,557	57
86,275	97,087	110,753	98,038	106	1.05	63,941	56,854	55,590	58,795	61

都道府 県名	指定市名	建築価額 (A)					再建築費肝点数 (B)				
		53年度 価額	54年度 価額	55年度 価額	平均	指数 東京 =100	53年度 価額	54年度 価額	55年度 価額	平均	指数 東京 =100
大阪	大阪市	97,080	93,300	105,408	98,596	107	64,480	53,533	58,995	59,002	105
兵庫	神戸市	96,900	96,800	104,500	99,400	108	60,999	53,915	52,747	55,887	99
奈良	奈良市	90,750	92,000	90,900	91,216	99	59,426	48,491	49,905	52,607	93
和歌山	和歌山市	86,000	95,000	82,000	87,666	95	59,125	51,666	53,323	54,704	97
鳥取	鳥取市	84,125	85,000	82,645	83,923	91	57,061	49,746	48,681	51,829	92
島根	松江市	85,178	87,984	103,110	92,090	100	62,064	52,469	53,099	55,877	99
岡山	岡山市	87,617	84,541	92,774	88,310	96	60,723	50,478	51,681	54,294	96
広島	広島市	77,914	88,000	89,559	85,157	92	60,813	50,590	51,819	54,407	97
山口	山口市	81,600	90,900	92,000	88,166	95	60,699	50,076	44,097	51,624	92
徳島	徳島市	81,800	91,000	110,000	94,266	102	60,505	51,918	50,824	54,415	97
香川	高松市	75,000	82,000	98,000	85,000	92	58,520	49,992	52,167	53,559	95
愛媛	松山市	75,000	73,499	74,142	74,213	80	61,254	55,822	52,712	56,596	101
高知	高知市	81,000	85,000	83,000	83,000	90	56,707	52,700	49,972	53,126	94
福岡	福岡市	84,000	82,517	99,822	88,779	96	58,282	49,183	48,372	51,945	92
佐賀	佐賀市	75,600	71,790	78,508	75,299	82	57,673	47,476	48,986	51,378	91
長崎	長崎市	70,000	71,000	78,000	73,000	79	59,613	51,479	51,461	54,184	96
熊本	熊本市	74,200	78,800	79,000	77,333	84	56,707	51,748	49,668	52,707	94
大分	大分市	70,500	75,600	77,000	74,366	81	58,488	53,490	50,024	54,000	96
宮崎	宮崎市	87,000	85,900	90,750	87,883	95	59,070	50,298	50,825	53,397	95
鹿児島	鹿児島市	69,000	74,943	78,800	74,247	80	58,998	50,631	50,352	53,327	95
沖縄	那覇市	-	93,775	106,061	99,918	108	-	48,561	40,516	44,538	79
標準偏差値					7,993	86				2,409	4.3
最 高					横浜市	横浜市				大阪市	大阪市
					104,622	113				59,002	105
最 低					秋田市	秋田市				那覇市	那覇市
					69,502	75				44,538	79
平 均					84,054	93				53,696	95

修正建築価額 (C)					再建築価額 (D)					
53年度価額 (A/B指数) (円)	54年度価額 (A/B指数) (円)	55年度価額 (A/B指数) (円)	平均	指数 東京 =100	一点単価	53年度価額	54年度価額	55年度価額	平均	(D)/(A)
89,889	91,471	101,354	94,238	102	1.05	67,704	56,210	61,952	62,288	63
95,000	93,981	112,366	100,449	109	1.05	64,049	56,611	55,384	58,681	59
90,750	100,000	103,295	98,015	106	0.9975	59,277	48,370	49,780	52,475	58
86,869	96,939	87,234	90,347	98	0.9975	58,977	51,537	53,190	54,568	62
87,630	89,474	96,099	91,067	99	0.945	53,923	47,010	46,004	48,979	58
81,902	87,984	109,691	93,192	101	0.945	58,650	49,583	50,179	52,804	57
85,899	88,064	101,949	91,970	100	0.9975	60,571	50,352	51,552	54,158	61
76,386	91,667	98,416	88,823	96	0.9975	60,661	50,464	51,689	54,271	64
80,000	95,684	117,949	97,887	106	0.945	57,361	47,322	41,672	48,785	55
80,990	91,919	122,222	98,377	107	0.945	57,177	49,063	48,029	51,423	55
76,531	86,316	106,522	89,789	97	0.945	55,301	47,242	49,298	50,613	60
72,816	69,339	79,723	73,959	80	0.945	57,885	52,752	49,813	53,483	72
85,263	85,000	94,318	88,193	95	0.945	53,588	49,802	47,224	50,204	60
85,714	87,784	117,438	96,978	105	1.05	61,196	51,642	50,791	54,543	61
77,938	79,767	91,288	82,997	90	0.945	54,501	44,865	46,292	48,549	64
70,000	72,449	85,714	76,054	82	0.945	58,334	48,648	48,631	51,204	70
78,105	79,596	89,773	82,491	89	0.945	53,588	48,902	46,936	49,808	64
71,939	74,118	87,500	77,852	84	0.945	55,271	50,548	47,273	51,030	69
87,879	89,479	100,833	92,730	100	0.945	55,821	47,532	48,030	50,461	57
69,697	78,066	88,539	78,767	85	0.945	55,753	47,846	47,583	50,394	68
-	100,833	149,382	125,107	135	0.945	-	45,890	38,288	42,089	42
			9,045	9.8					3,755	5.2
			那覇市	那覇市		大阪市	名古屋市	大阪市	大阪市	松山市
			125,107	135		67,704	57,492	61,945	62,288	72
			松山市	松山市		新潟市	秋田市	那覇市	那覇市	那覇市
			73,959	80		49,415	44,595	38,288	42,089	42
			90,714	98		58,235	50,200	49,602	52,571	61

表1-9 木造建物に係る建築価額等の段階別状況調査(3ヶ年平均分)

区分	建築価額		修正建築価額	
	指定市数	指定市名	指定市数	指定市名
65,000～69,999円	1	秋田市	1	松山市
70,000～74,999円	6	荻森市・盛岡市・松山市・長崎市・大分市 鹿児島市	3	長崎市・大分市・鹿児島市
75,000～79,999円	6	福島市・新潟市・長野市・佐賀市 熊本市	11	札幌市・青森市・盛岡市・秋田市・福島市 水戸市・宇都宮市・金沢市・岐阜市・佐賀市 熊本市
80,000～84,999円	6	札幌市・宇都宮市・金沢市・岐阜市・鳥取市 高知市	7	山形市・新潟市・甲府市・長野市・広島市 高松市・高知市
85,000～89,999円	14	仙台市・山形市・前橋市・富山市・福井市 甲府市・静岡市・和歌山市・岡山市・広島市 山口市・高松市・福岡市・宮崎市	11	仙台市・東京都特別区・富山市・静岡市・名古屋市・大阪市・和歌山市・鳥取市・松江市 岡山市・宮崎市
90,000～94,999円	8	千葉市・東京都特別区・名古屋市・津市・大津市・奈良市・松江市・徳島市	11	前橋市・浦和市・千葉市・福井市・津市・大津市・京都市・奈良市・山口市・徳島市・福岡市
95,000～99,999円	5	浦和市・京都市・大阪市・神戸市・那覇市	1	神戸市
100,000～104,999円	1	横浜市	1	横浜市
105,000～109,999円				
110,000～114,999円				
115,000～119,999円				
120,000～124,999円				
125,000～129,999円				
合計	47		47	

表 1-10 木造建物に係る建築価額等の物価水準別調査（3ヶ年平均分）

都 道 府 名	指定市名	物 価 水 準 1.00		物 価 水 準 0.95		物 価 水 準 0.90						
		建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数	建築価額 (円)	修正建築 価額(円)	消費者 物価指数		
北海道	札幌市	84,069	83,644	95.1								
青森県	青森市											91.3
岩手県	盛岡市											90.6
宮城県	仙台市				85,423	93,730	95.3					
秋田県	秋田市											90.9
山形県	山形市				78,529	84,379	92.5					
福島県	福島市				80,277	84,040	90.5					
茨城県	水戸市				89,675	97,734	90.3					
栃木県	宇都宮市				95,936	99,390	94.7					
群馬県	前橋市				94,255	97,962	94.8					
埼玉県	千代田市											
千葉県	千葉市	92,360	92,360	100.0								
東京都	特別区	104,622	111,081	97.1								
	横浜市											93.0
	名古屋市											92.5
	京都市											91.8
	大阪市											90.6
	神戸市											90.6
	仙台市											90.4
	新潟市											92.3
	石川県											
	福井県											
	長野県											
	岐阜県											
	静岡県				89,902	91,332	94.8					
	愛知県	92,355	90,472	94.9								
	三重県											
	滋賀県	97,000	98,038	96.9								
	京都府											
	大阪府											
	兵庫県											
	徳島県											
	香川県											
	愛媛県											
	高知県											
	福岡県											
	佐賀県											
	熊本県											
	大分県											
	鹿児島県											
	沖縄県											

都 道 府 名	物 価 水 準 1.00			物 価 水 準 0.95			物 価 水 準 0.90		
	建 築 価 額 (円)	修 正 建 築 価 額 (円)	消 費 者 物 価 指 数	建 築 価 額 (円)	修 正 建 築 価 額 (円)	消 費 者 物 価 指 数	建 築 価 額 (円)	修 正 建 築 価 額 (円)	消 費 者 物 価 指 数
大 阪 市	98,596	94,238	94.9						
兵 庫 市	99,400	100,449	95.8	91,216	98,015	95.1			
奈 良 市				87,666	90,347	94.1	83,923	91,067	90.0
山 歌 市							92,090	93,192	90.7
取 根 市				88,310	91,970	90.6			
山 根 市				85,157	88,823	92.6			
島 山 市							88,166	97,887	90.7
口 島 市							94,266	98,377	93.1
島 山 市							85,000	89,789	91.1
川 松 市							74,213	73,959	92.0
媛 高 市							83,000	88,193	92.4
知 高 市			93.3						
岡 福 市		96,978					75,299	82,997	89.3
賀 本 市							73,000	76,054	91.0
崎 本 市							77,333	82,491	91.5
分 本 市							74,366	77,852	89.8
崎 本 市							87,883	92,730	88.9
島 崎 市							74,247	78,767	92.0
那 那 市							99,918	125,107	91.4
標 準 偏 差 值	6,124	7,515	1.9	4,812	5,217	1.9	7,258	9,812	1.1
	横 浜 市	横 浜 市	東 京 都 特 別 区	浦 和 市	浦 和 市	仙 台 市	那 霸 市	那 霸 市	山 形 市
最 高	104,622	111,081	100.0	95,936	99,390	95.3	99,918	125,107	93.6
	札 幌 市	札 幌 市	福 岡 市	水 戸 市	宇 都 宮 市	津 市	秋 田 市	松 山 市	宮 崎 市
最 低	84,069	83,644	93.3	78,529	84,040	90.2	69,502	73,959	88.9
	札 幌 市	札 幌 市	福 岡 市	水 戸 市	宇 都 宮 市	津 市	秋 田 市	松 山 市	宮 崎 市
平 均	94,648	95,908	96.0	88,344	93,412	93.0	82,265	87,768	91.2

図1-1 木造建物に係る建築価額等及び再建築費点数の地域別比較

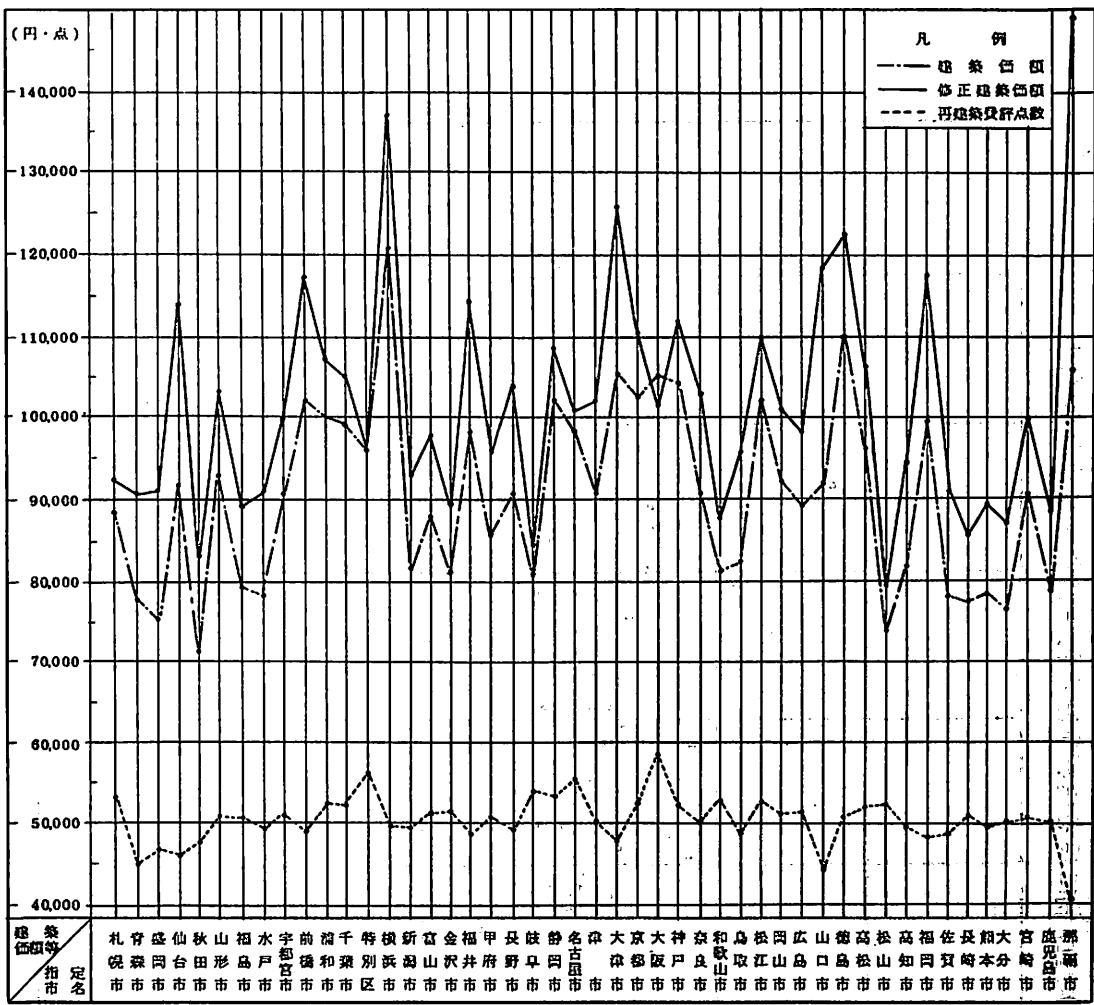


図1-2 木造建物に係る建築価額と再建築費評点数の相関図

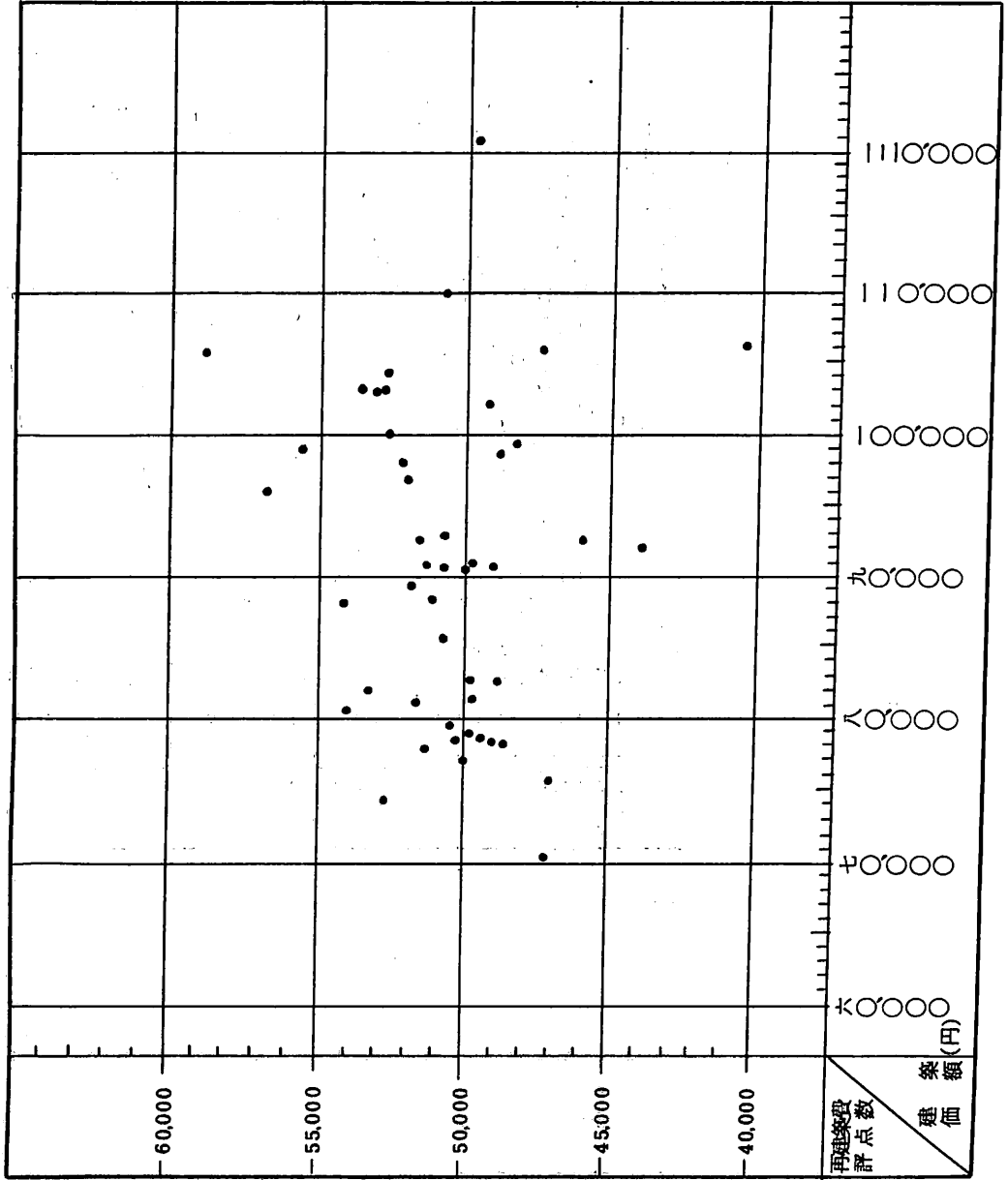


図1-3 木造建物に係る建築価額等に対する評点水準の地域別比較

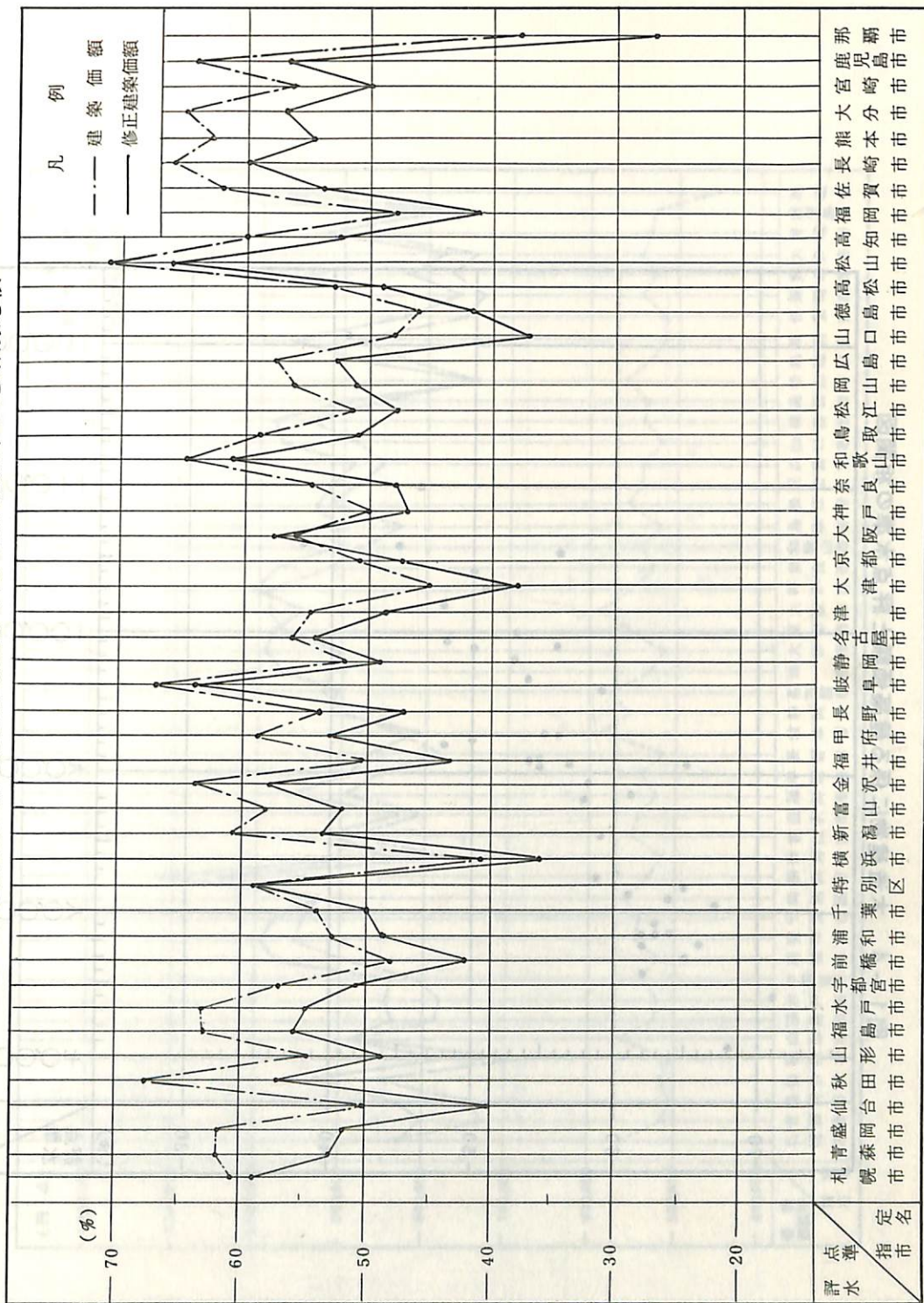


図1-4 木造建物に係る建築価額と評点水準の相関図

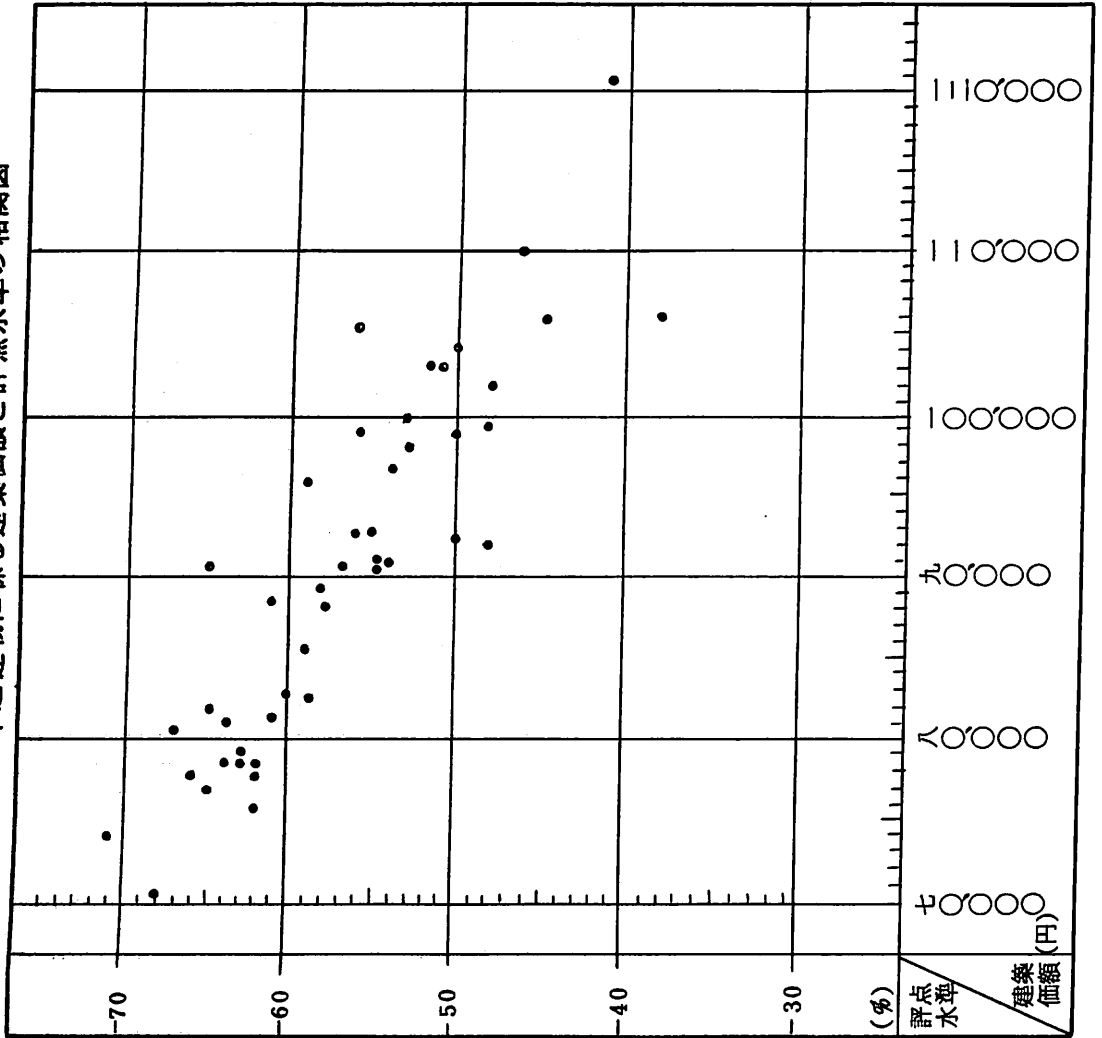


図1-5 木造建物に係る建築価額等及び再建築費評点数の地域別比較(3ヶ年平均分)

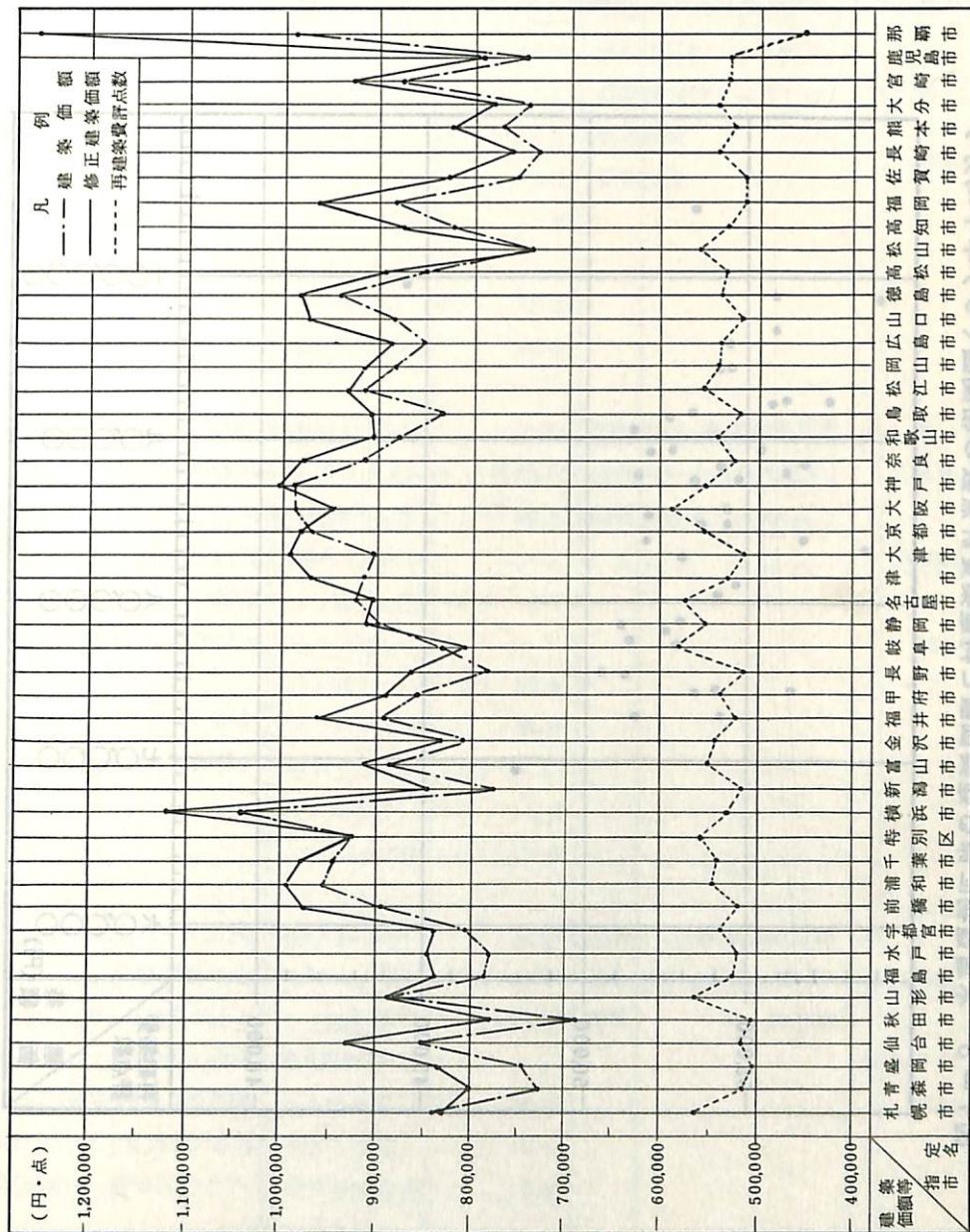
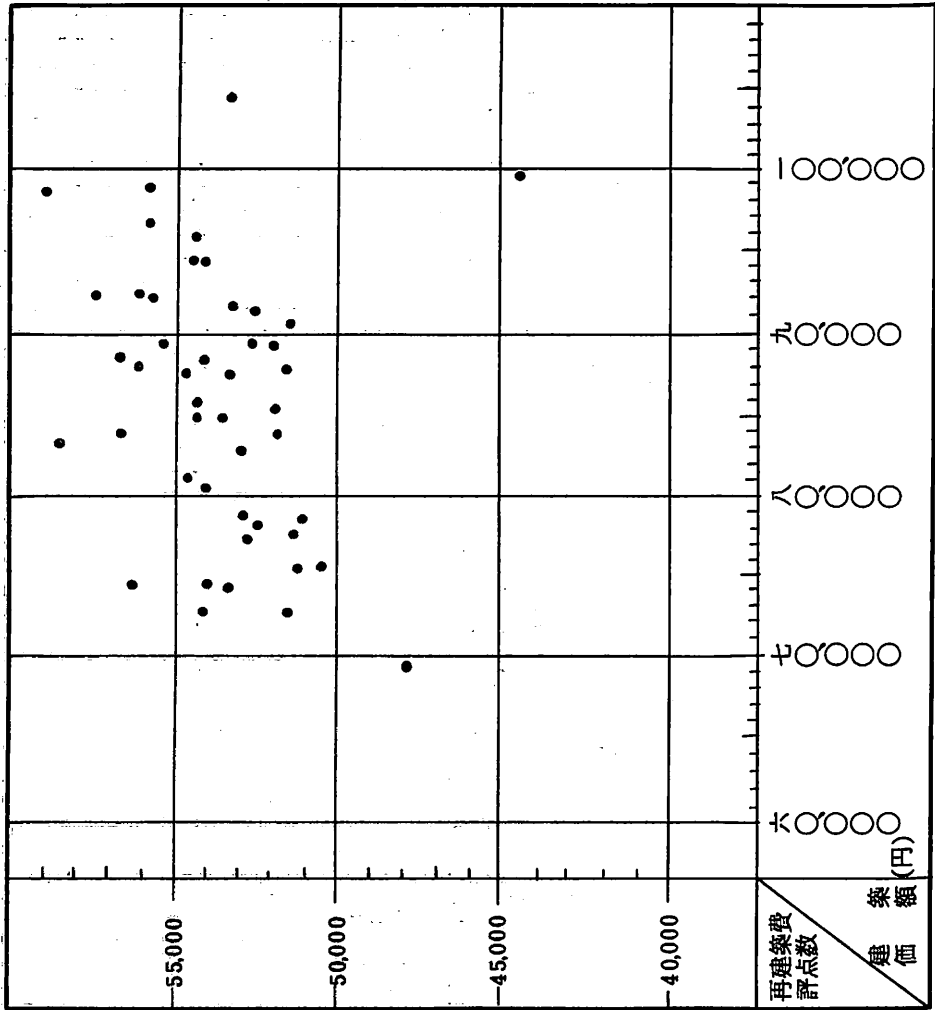


図1-6 木造建物に係る建築価額と再建築費評点数の相関図(3ヶ年平均分)



年	内	日	特資土計施代	特資土計施品	寄置品名 (品目)
昭和10年
昭和11年
昭和12年
昭和13年
昭和14年
昭和15年
昭和16年
昭和17年
昭和18年
昭和19年
昭和20年
昭和21年
昭和22年
昭和23年
昭和24年
昭和25年
昭和26年
昭和27年
昭和28年
昭和29年
昭和30年
昭和31年
昭和32年
昭和33年
昭和34年
昭和35年
昭和36年
昭和37年
昭和38年
昭和39年
昭和40年
昭和41年
昭和42年
昭和43年
昭和44年
昭和45年
昭和46年
昭和47年
昭和48年
昭和49年
昭和50年
昭和51年
昭和52年
昭和53年
昭和54年
昭和55年
昭和56年
昭和57年
昭和58年
昭和59年
昭和60年
昭和61年
昭和62年
昭和63年
昭和64年
昭和65年
昭和66年
昭和67年
昭和68年
昭和69年
昭和70年
昭和71年
昭和72年
昭和73年
昭和74年
昭和75年
昭和76年
昭和77年
昭和78年
昭和79年
昭和80年
昭和81年
昭和82年
昭和83年
昭和84年
昭和85年
昭和86年
昭和87年
昭和88年
昭和89年
昭和90年
昭和91年
昭和92年
昭和93年
昭和94年
昭和95年
昭和96年
昭和97年
昭和98年
昭和99年
昭和100年

参考資料

木造家屋部分別仕上資

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
北海道 (札幌市) 11583 m ²	着色亜鉛鉄板 (平葺・長尺もの)	気泡コンクリート板 断熱材(加)	杉(松) (105cm)(中)	合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 30% 石膏ボード (普通板・目地棒なし) 5% プリント合板 30% 単板張り合板 15% 石綿スレート(化粧板) 20%
青森県 (青森市) 12931 m ²	着色亜鉛鉄板 (平葺・長尺もの)	モルタル (人造石洗出) 断熱材(加)	ひば(105cm) (上) 27% 松(105cm) (上) 73%	布貼(下地合板)(中) 13% 繊維壁(繊維状のもの) (上) 35% プリント合板 17% 石膏ボード (化粧板・目地棒あり) 13% 石膏ボード (普通板・目地棒なし) 22%
岩手県 (盛岡市) 11156 m ²	着色亜鉛鉄板 (瓦葺・長尺もの) 断熱材(加)	モルタル (リシ仕上)(中) 断熱材(加)	米楯(105cm) (中) 55% 大壁造 (10.5cm)45%	角タイル(並) 5% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 30% ラワン合板 20% 繊維壁(砂状のもの) (中) 35% プリント合板 10%

材及び建築価額状況

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 10㎡当たり
一重廻縁(中) 25%		畳(中) 25%		電鈴設備(電池式)	円 88,551
石膏ボード(普通板) 20%		軟質クッションフロア		浴槽(ステンレス製)	
軟質繊維板(普通板) 40%		(下地板張)(中) 15%		流し台(ステンレス張)	
合成樹脂壁紙(中) 15%		モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
断熱材(加)		(下地コンクリート) 5%		集合煙突	
		ラワン合板 5%		給湯設備	
		プリント合板 40%			
		じゅうたん			
		(下地板張)(中) 10%			
		断熱材(加) 62%			
二重廻縁(並) 12%		畳(中) 25%		電鈴設備(電池式)	円 78,181
一重廻縁(中) 15%		モザイクタイル		浴槽(ステンレス製)	
打上天井(桧板)(下) 9%		(下地コンクリート) 2%		排気扇設備(径30cm)	
軟質繊維板(化粧板) 27%		角タイル			
合成樹脂壁紙(中) 13%		(下地コンクリート) 2%			
石膏ボード(普通板) 24%		モルタル			
		(下地コンクリート) 12%			
		プリント合板 31%			
		軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中) 13%			
		フローリング張(ぶな) 15%			
一重廻縁(中) 50%		畳(中) 40%		浴槽(ステンレス製)	円 75,600
ラワン合板 5%		モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
軟質繊維板(化粧板) 10%		(下地コンクリート) 5%			
石膏ボード(吸音板) 20%		軟質クッションフロア			
合成樹脂壁紙(中) 10%		(下地板張)(中) 20%			
石綿スレート(普通板) 5%		ラワン合板 10%			
合成樹脂ペイント(並)		単板張り合板 10%			
(加) 5%		じゅうたん			
		(下地板張)(並) 15%			

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
宮 城 県 (仙台市) 11665 m ²	日本瓦(中) 23 % 着色亜鉛鉄板 (平葺) 77 %	モルタル (リシン仕上)(中) 33 % 着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(並)	米樫(120cm) (上) 5 % 米樫(105cm) (上) 95 %	京 壁 33 % 角タイル(並) 3 % 硬質繊維板 6 % ラワン合板 18 % プリント合板 13 % 石綿スレート(化粧板) 7 % 繊維壁(繊維状のもの) (中) 20 %
秋 田 県 (秋田市) 10082 m ²	亜鉛鉄板(平葺) 断熱材(加)	モルタル (色吹付仕上) 断熱材(加)	杉(105cm) (上) 9 % 米樫(105cm) (上) 15 % 大壁造 (105cm) 76 %	京 壁 25 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 49 % プリント合板 18 % モルタル(リシン仕上) 1 % 角タイル 1 % ラワン合板 6 %
山 形 県 (山形市) 12503 m ²	着色亜鉛鉄板 (瓦葺)	モルタル(中) (リシン仕上) 断熱材(加)	集成材 杉(105cm) 70 % 大壁造 (105cm) 30 %	角タイル(上) 5 % 合成樹脂壁紙(中) 5 % プリント合板 10 % 繊維壁(砂状のもの) 70 % ラワン合板 10 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
ラワン合板	8%	畳(中)	56%	電鈴設備(電池式)	円 92,410
合成樹脂被覆合板	10%	軟質クッションフロア		浴槽(ステンレス製)	
布 貼(中)	8%	(下地板張)(中)	11%	排気扇設備(径 30 cm)	
打上天井(桧板)(中)	8%	緑甲板張(中)	5%		
石膏ボード(吸音板)	15%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	3%		
		モルタル			
		(下地コンクリート)	3%		
		ラワン合板	8%		
		単板張り合板	14%		
一重廻縁(中)	22%	畳(中)	22%	電鈴設備(電池式)	円 87,700
合成樹脂壁紙(中)	63%	単板張り合板	19%	浴槽(ポリエステル製)	
石膏ボード(吸音板)	4%	じゅうたん		流し台(ステンレス張)	
合成樹脂被覆合板	2%	(下地板張)(下)	32%	排気扇設備(径 30 cm)	
ラワン合板	9%	軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中)	12%		
		フローリング張(なら)	4%		
		クリンカータイル	5%		
		ラワン合板	6%		
一重廻縁(中)	45%	畳(中)	45%	電鈴設備(トランス式)	円 93,153
ラワン合板	20%	モザイクタイル		浴槽(ポリエステル製)	
石膏ボード(吸音板)	28%	(下地コンクリート)	4%	排気扇設備(径 40 cm)	
石綿スレート(普通板)	7%	クリンカータイル	3%	浄化槽(7.5人槽)	
断熱材(加)		ラワン合板	20%		
		緑甲板張(中)	12%		
		モルタル	2%		
		軟質クッションフロア			
		(中)(下地板張)	14%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
福 島 県 (福島市) 11422 m ²	日本瓦(中) 89 % 着色亜鉛鉄板 (瓦棒・長尺もの) 11 % 断熱材(加)	モルタル (リシン仕上)(中)	杉 (120 cm) (中) 11 % 杉 (105 cm) 89 %	角タイル(並) 2 % プaster 6 % 布貼(下地合板)(並) 13 % 石膏ボード (化粧板・目地棒なし) 21 % プリント合板 13 % 繊維壁(砂状のもの) (上) 45 %
茨 城 県 (水戸市) 10864 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕上)(上)	杉 (105 cm) (中) 50 % 杉 (105 cm) (並) 50 %	京 壁 40 % 角タイル(並) 2 % プリント合板 20 % ラワン合板 8 % 石綿スレート(化粧板) 11 % 繊維壁(下地合板) 19 %
栃 木 県 (宇都宮市) 9585 m ²	日本瓦(上) 53 % 着色亜鉛鉄板 (瓦棒・長尺もの) 47 %	モルタル (リシン仕上)(中)	桧 (105 cm) (上) 20 % 桧 (100 cm) (上) 28 % 大壁造 (10.5cm) 52 %	京 壁 20 % 角タイル(並) 7 % 布貼(下地合板)(並) 7 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 11 % ラワン合板 13 % プリント合板 5 % 繊維壁(繊維状のもの) (並) 37 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
一重廻縁(上)	44%	畳(中)	37%	電鈴設備(電池式)	円 79600
プリント合板	14%	軟質クッションフロア		浴槽(ステンレス製)	
軟質繊維板(化粧板)	25%	(下地板張)	13%	流し台(ステンレス張)	
石膏ボード(吸音板)	9%	モザイクタイル		排気扇設備(径25cm)	
合成樹脂壁紙(並)	5%	(下地コンクリート)	6%	給湯設備	
石綿スレート(普通板)	3%	ラワン合板	12%	浄化槽(7.5人槽)	
合成樹脂エマルジョンペイント		単板張り合板	19%		
(加)	3%	じゅうたん			
		(下地板張)(下)	13%		
二重廻縁(並)	23%	畳(中)	42%	浴槽(ステンレス製)	円 78788
一重廻縁(中)	20%	緑甲板張(中)	4%	排気扇設備(径20cm)	
ラワン合板	8%	フローリングブロック			
軟質繊維板(化粧板)	35%	(なら)	40%		
石膏ボード(吸音板)	11%	モザイクタイル			
モルタル(リシン仕上)	3%	(下地コンクリート)	2%		
		クリンカータイル	2%		
		ラワン合板	10%		
二重廻縁(中下)	27%	畳(中)	25%	電鈴設備(電池式)	円 90853
ラワン合板	12%	モザイクパーケット		浴槽(ステンレス製)	
石膏ボード(吸音板)	28%	(さくら)	12%	排気扇設備(径20cm)	
合成樹脂壁紙(並)	23%	軟質クッションフロア		排気扇設備(径30cm)	
布貼(中)	6%	(下地板張)(中)	20%		
モルタル(リシン仕上)	4%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	7%		
		ラワン合板	7%		
		じゅうたん			
		(下地板張)(並)	29%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
群馬県 (前橋市) 9626㎡	日本瓦(並)	モルタル (リシン仕上)(中)	杉(120cm) (中) 10% 集成材(桧) (100cm) 30% 大壁造 (105cm) 50% 大壁造 (100cm) 10%	京壁 29% プaster 17% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 19% ラワン合板 20% プリント合板 15%
埼玉県 (浦和市) 9751㎡	日本瓦(釉薬) 85% 着色亜鉛鉄板 (瓦棒・長尺もの) 断熱材(加) 15%	モルタル仕上 (厚さ18cm) (樹脂入りモルタル 吹付)	桧(105cm) (上) 70% 大壁造 (105cm) 30%	漆喰壁 25% 砂壁 15% プリント合板 60%
千葉県 (千葉市) 8611㎡	日本瓦(釉薬) 61% スレート (着色板) 39%	フレキシブル板 (樹脂入りモルタル 吹付) 91% 漆喰壁 (普通仕上) 7% 小口二丁掛タイル 2% (加)断熱材	杉(120cm) (中) 6% 杉(105cm) (中) 71% 大壁造 (105cm) 23%	砂壁 46% 繊維壁(砂状のもの) (中) 18% プリント合板 15% 合成樹脂被覆合板 12% ラワン合板 6% 角タイル(上) 3%

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
一重廻縁(中)	41%	畳(中)	37%	電鈴設備(電池式)	円 102025
ラワン合板	10%	緑甲板張(中)	11%	浴槽(ステンレス製)	
合成樹脂壁紙(中)	32%	モザイクタイル		排気扇設備(径20cm)	
石膏ボード(普通板)	13%	(下地コンクリート)	2%	浄化槽(5人槽)	
割竹すのこ	4%	クリンカータイル	2%		
		ラワン合板	13%		
		単板張り合板	35%		
一重廻縁(上)	20%	畳(中)	30%	浴槽(ポリエステル製)	円 100,000
一重廻縁(中)	10%	緑甲板張(中)	10%	排気扇設備(径30cm)	
ラワン合板	10%	モザイクパーケット		浄化槽(5人槽)	
プリント合板(中)	5%	(なら・ぶな)	45%		
軟質繊維板(化粧板)	55%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	5%		
		杉板張(並)	10%		
打上天井(中)	44%	畳(中)	36%	電鈴設備(電池式)	円 96922
軟質繊維板(化粧板)	30%	モザイクパーケット		浴槽(ポリエステル製)	
石綿スレート		(なら)	28%	流し台(ステンレス張)	
(フレキシブル板)	12%	軟質クッションフロア		排気扇設備(径20cm)	
ラワン合板	6%	(下地板張)(中)	12%		
合成樹脂被覆合板	5%	緑甲板張(中)	8%		
石膏ボード(吸音板)	3%	ラワン合板	9%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	5%		
		角タイル			
		(下地コンクリート)	2%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
東京都 (特別区) 101.70 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (モルタル厚 3.0cm) 90 % 小口二丁掛タイル 10 % (加)樹脂入り モルタル吹付 90 % (加)断熱材 100 %	桧 (120 cm) (中) 40 % 桧 (105 cm) (中) 25 % 大壁造 (10.5cm) 35 %	角タイル(上) 5 % プaster 3 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 15 % ラワン合板 2 % 単板張り合板 15 % 繊維壁 (下地合板・砂状のもの)(中) 60 %
神奈川県 (横浜市) 80.32 m ²	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕上)(中) 断熱材(加)	桧 (105 cm) (中) 45 % 大壁造 (10.5cm)(中) 55 %	繊維壁(並) (下地合板綿状) 5 % 繊維壁(中) (下地合板砂状) 50 % ラワン合板 5 % 合成樹脂壁紙(並) (下地合板) 35 % 角タイル(並) 5 %
新潟県 (新潟市) 116.22 m ²	セメント瓦 (加)油性ペイント	リシン仕上(中) 20 % 木片セメント板 80 % (加)断熱材 80 % (加)塗装 (油性ペイント) 80 %	杉 (105 cm) (上) 40 % 杉 (105 cm) (中) 30 % 米樫 (105 cm) (中) 30 %	角タイル(上) 2 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 2 % 石膏ボード (化粧板・目地棒なし) 11 % ラワン合板 6 % プリント合板 11 % 繊維壁(砂状のもの) (上) 68 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
一重廻縁(中)	67%	畳(中)	55%	電鈴設備(電池式)	96,165 円
ラワン合板	5%	緑甲板張(中)	5%	浴槽(ステンレス製)	
軟質繊維板(化粧板)	8%	軟質クッションフロア		排気扇設備(径20cm)	
岩綿繊維板	5%	(下地板張)(中)	15%	排気扇設備(径40cm)	
合成樹脂壁紙(中)	15%	モザイクタイル		流し台(ステンレス張)	
		(下地コンクリート)	5%		
		黒砂利洗出			
		(下地コンクリート)	5%		
		ラワン合板	5%		
		単板張り合板	10%		
一重廻縁(並)	35%	モザイクタイル		電鈴設備(電池式)	120,767 円
ラワン合板	5%	(下地コンクリート)	2%	浴槽(ポリエステル製)	
石膏ボード(吸音板)	20%	クリンカータイル	3%	排気扇設備(径30cm)	
石綿スレート		畳(中)	35%	浄化槽(5人槽)	
(フレキシブル板)	5%	軟質クッションフロア			
油性ペイント(加)		(下地板張)(中)	5%		
合成樹脂壁紙(中)	35%	ラワン合板	5%		
		単板張り合板	50%		
二重廻縁(中下)	34%	畳(中)	42%	電鈴設備(電池式)	81,741 円
一重廻縁(並)	34%	フローリング張		浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板	6%	(さくら)	15%	排気扇設備(径30cm)	
合成樹脂被覆合板	2%	単板張り合板	16%	浄化槽(7.5人槽)	
軟質繊維壁(化粧板)	13%	軟質クッションフロア			
石膏ボード(吸音板)	11%	(下地板張)(中)	16%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	2%		
		黒砂利洗出			
		(下地コンクリート)	3%		
		ラワン合板	6%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
富 山 県 (富山市) 10736 ㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕上)(中) 97% 小口二丁掛タイル 3% 断熱材(加)	杉 (120cm) (上) 12% 杉 (105cm) (上) 36% 杉 (105cm) (中) 10% 大壁造 (105cm)42%	角タイル(並) 5% モルタル(リシン仕上) 2% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 9% プリント合板 16% 繊維壁 (下地合板・砂状のもの) (中) 50% ラワン合板 18%
石 川 県 (金沢市) 9596 ㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕上)(中) 60% 着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(上) 40%	桧 (105cm) (上) 18% 桧 (120cm) (並) 19% 米桐(105cm) (中) 25% 大壁造 (105cm)38%	角タイル(並) 8% モルタル(リシン仕上) 2% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 15% ラワン合板 8% プリント合板 37% 繊維壁 (下地合板・砂状のもの) (上) 30%
福 井 県 (福井市) 129.74 ㎡	日本瓦(中)	モルタル (リシン仕上)(中) 45% 着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(上) 55%	杉 (135cm) (中) 15% 杉 (120cm) (中) 50% 杉 (105cm) (中) 35%	京 壁 44% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 39% モルタル(リシン仕上) 2% 石綿スレート(平板) 10% ラワン合板 5%

天 井		床		建 築 設 備		建築価額 1.0㎡当たり
ラワン合板	7%	畳(中)	42%	電鈴設備(トランス式)		円 88,394
二重廻縁(中・下)	22%	フローリング張(なら)	9%	浴槽(ステンレス製)		
舟底天井(並)	30%	フローリング張(ぶな)	10%	排気扇設備(径20cm)		
軟質繊維板(化粧板)	23%	軟質クッションフロア				
石膏ボード(普通板)	12%	(下地板張)(中)	18%			
合成樹脂壁紙(中)	4%	モザイクタイル				
モルタル(リシン仕上)	2%	(下地コンクリート)	5%			
		ラワン合板	7%			
		単板張り合板	9%			
一重廻縁(並)	56%	畳(中)	34%	電鈴設備(電池式)		円 81,200
ラワン合板	6%	ラワン合板	7%	浴槽(ポリエステル製)		
軟質繊維板(化粧板)	22%	角タイル		排気扇設備(径20cm)		
合成樹脂壁紙(中)	14%	(下地コンクリート)	7%			
モルタル(リシン仕上)	2%	単板張り合板	38%			
		モルタル				
		(下地コンクリート)	1%			
		軟質クッションフロア				
		(下地板張)(中)	13%			
一重廻縁(上)	38%	畳(中)	33%	電鈴設備(トランス式)		円 98,745
軟質繊維板(化粧板)	42%	フローリング張(ぶな)	22%	浴槽(ステンレス製)		
ラワン合板	3%	リノリューム		排気扇設備(径30cm)		
合成樹脂壁紙(中)	17%	(下地板張)	8%			
		モザイクタイル				
		(下地コンクリート)	6%			
		単板張り合板	17%			
		じゅうたん				
		(下地板張)(下)	14%			

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
山 梨 県 (甲府市) 9669 m ²	日本瓦(粘薬)	モルタル (リシン仕上)(中)	桧 (120 cm) (中) 25 % 桧 (105 cm) (中) 23 % 大壁造 (105cm)52 %	京 壁 28 % 角タイル(並) 2 % プラスター 2 % ラワン合板 8 % プリント合板 24 % クロス合板 36 %
長 野 県 (長野市) 11996 m ²	日本瓦(粘薬) 30 % 着色亜鉛鉄板 (長尺瓦棒) 70 %	モルタル(中) (リシン仕上) 小口二丁掛タイル 5 % 塗装合板 5 %	杉 (120 cm) (上) 50 % 米樫(120 cm) (上) 10 % 米樫(105 cm) (上) 40 %	繊維壁 (下地合板・砂状のもの) (中) 30 % 石膏ボード(化粧板) (目地棒あり) 10 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 15 % プリント合板 15 % 角タイル(並) 5 % ラワン合板 25 %
岐 阜 県 (岐阜市) 10743 m ²	日本瓦(粘薬)	着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(並)	桧 (120 cm) (上) 10 % 桧 (105 cm) (中) 60 % 桧 (105 cm) (並) 30 %	中 塗仕上 20 % 角タイル(並) 5 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 20 % ラワン合板 5 % プリント合板 40 % 繊維板 (砂状のもの)(中) 10 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
一重廻縁(中)	36%	畳(中)	34%	大便器(洋式)	円 85,901
ラワン合板	7%	合成樹脂タイル		洗面器	
プリント合板		(下地板張)	14%	浴槽(ポリエステル製)	
(合成樹脂被覆)	3%	モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
石膏ボード(普通板)	20%	(下地コンクリート)	2%	浄化槽(7.5人槽)	
布貼(中)	34%	クリンカータイル	3%		
		ラワン合板	7%		
		単板張り合板	40%		
二重廻縁(中)	25%	畳(中)	33%	電鈴設備(電池式)	円 90,900
一重廻縁(中)	15%	フローリング張(なら)	18%	浴槽(ステンレス製)	
軟質繊維板(化粧板)	25%	緑甲板張(中)	7%	排気扇設備(径20cm)	
着色亜鉛鉄板		軟質クッションフロア		排気扇設備(径30cm)	
(吸音板)	5%	(下地板張)(中)	14%		
合成樹脂壁紙(中)	10%	じゅうたん			
半硬質繊維板		(下地板張)(下)	8%		
(吸音板)	10%	モザイクタイル			
ラワン合板	10%	(下地コンクリート)	3%		
		クリンカータイル	2%		
		ラワン合板	15%		
一重廻縁(中)	35%	畳(中)	31%	浴槽(ステンレス製)	円 80,517
軟質繊維板(化粧板)	50%	緑甲板張(中)	7%		
半硬質繊維板		フローリング張(ぶな)	45%		
(吸音板)	5%	ラワン合板	5%		
ラワン合板	5%	硬質クッションフロア			
モルタル(リシン仕上)	5%	(下地板張)(中)	7%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	3%		
		クリンカータイル	2%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
静岡県 (静岡市) 99.00 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕上)(中) 40% 着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(並) 60% 断熱材(加)	桧 (120cm) (上) 45% 桧 (105cm) (中) 20% 杉 (105cm) (中) 35%	角タイル(上) 4% モルタル(リシン仕上) 2% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 15% 布貼(下地合板) (中) 10% ラワン合板 15% プリント合板 21% 繊維壁 (下地合板)(上) 33%
愛知県 (名古屋市) 97.20 m ²	日本瓦(釉薬) 50% 着色亜鉛鉄板 (瓦棒) 40% 断熱材(加) スレート着色板 断熱材(加) 10%	モルタル (リシン仕上)(中) 15% 塗装合板 83% 小口二丁掛タイル 2% 断熱材(加)	桧 (120cm) (中) 14% 桧 (100cm) (上) 20% 桧 (100cm) (中) 35% 米樫(100cm) 31%	繊維壁(綿状)(中) 9% 繊維壁(砂状)(中) 10% 角タイル(上) 4% モルタル(リシン仕上) 4% 合成樹脂壁紙(並) 11% ラワン合板 18% プリント合板 44%
三重県 (津市) 108.38 m ²	日本瓦(釉薬)	着色亜鉛鉄板成型 板(裏板なし)(並) 70% モルタル (リシン仕上)(中) 28% 小口二丁掛タイル 2%	桧 (120cm) (上) 2% 桧 (105cm) (中) 30% 大壁造 (10.5cm) 68%	京 壁 10% 繊維壁 (繊維状のもの)(並下) 21% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 41% プリント合板 14% 角タイル(並) 3% ラワン合板 5% 布貼 (下地合板)(並) 6%

天 井		床		建 築 設 備	建 築 価 額 1.0㎡当たり
二重廻縁(並)	10%	畳(中)	20%	電鈴設備(電池式)	円 103030
ラワン合板	10%	緑甲板張(中)	10%	浴槽(ほうろろ製)	
軟質繊維板(化粧板)	13%	モザイクパーケット		排気扇設備(径20cm)	
石膏ボード(吸音板)	7%	(なら)	22%		
合成樹脂壁紙(中)	36%	軟質クッションフロア			
一重廻縁(中)	21%	(下地板張)(中)	12%		
モルタル(リシン仕上)	3%	ラワン合板	15%		
		モザイクタイル			円 99065
舟底天井	17%	(下地コンクリート)	6%		
ラワン合板	8%	じゅうたん			
軟質繊維板(化粧板)	51%	(下地板張)(並)	15%		
石膏ボード(吸音板)	21%	畳(中)	21%	インターホン配線設備	
モルタル(リシン仕上)	3%	フローリング張(ぶな)	7%	浴槽(ステンレス製)	
		モザイクタイル		排気扇設備(径25cm)	
		(下地コンクリート)	3%		円 90400
打上天井(桧板)(下)	28%	クリンカータイル			
半硬質繊維板		(下地コンクリート)	3%		
(吸音板)	39%	ラワン合板	8%		
軟質繊維板(化粧板)	12%	単板張り合板	58%		
布貼(中)	11%	畳(中)	27%	電鈴設備(電池式)	
ラワン合板	5%	フローリングブロック		浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板		(ぶな)	21%	流し台(ステンレス張)	
(加)油性ペイント	5%	フローリング張		排気扇設備(径20cm)	
		(ラワン・アピトン)	7%	洗面台(陶器製)	
		じゅうたん		浄化槽(5人槽)	
		(下地板張)(並)	21%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	6%		
		リノリューム(下地板張)	12%		
		ラワン合板	6%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
滋 賀 県 (大津市) 11969 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕上)(中) 98 % 小口二丁掛タイル 2 %	桧 (120 cm) (中) 20 % 桧 (105 cm) (中) 35 % 米桐 (105 cm) (中) 45 %	合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 20 % ラワン合板 10 % プリント合板 10 % 繊維壁 (下地合板・砂状のもの) (中) 49 % モルタル(リシン仕上) 5 % 角タイル(並) 6 %
京 都 府 (京都市) 8937 m ²	日本瓦(中)	モルタル (色吹付仕上)	桧 (120 cm) (中) 15 % 桧 (105 cm) (中) 65 % 大壁造 (105cm)20 %	プラスター 10 % 繊維壁(綿状のもの) (並) 25 % 繊維壁(砂状のもの) (上) 50 % ラワン合板 10 % 角タイル(並) 5 %
大 阪 府 (大阪市) 8321 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕上)(中) 97 % 小口二丁掛タイル 3 % 断熱材(加)	桧 (120 cm) (中) 12 % 桧 (105 cm) (中) 64 % 大壁造 (105cm)24 %	砂 壁 34 % プリント合板 22 % 単板張り合板 15 % 角タイル(並) 10 % モルタル(リシン仕上) 7 % プラスター 7 % 繊維壁 (繊維状のもの)(中) 5 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 10㎡当たり
一重廻縁(中)	35%	畳(中)	45%	浴槽(ステンレス製)	円 105,900
打上天井(桧板)	16%	モザイクパーケット		排気扇設備(径25cm)	
ラワン合板	14%	(ぶな)	31%		
石膏ボード(吸音板)	12%	ラワン合板	4%		
軟質繊維板(化粧板)	19%	じゅうたん			
モルタル(リシン仕上)	4%	(下地板張)(並)	11%		
		軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中)	2%		
		クリンカータイル	3%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	4%		
一重廻縁(並下)	75%	畳(中)	50%	電鈴設備(電池式)	円 103,000
ラワン合板	10%	フローリング張(ぶな)	20%	流し台(ステンレス張)	
石膏ボード(吸音板)	15%	単板張り合板	15%	浴槽(ほうろう製)	
		ラワン合板	10%	洗面台(陶器製)	
		モザイクタイル		排気扇設備(径20cm)	
		(下地コンクリート)	5%		
石膏ボード(吸音板)	51%	畳(中)	40%	インターホン配線設備	円 105,408
合成樹脂被覆合板	5%	モザイクパーケット		浴槽(ステンレス製)	
モルタル(リシン仕上)	3%	(さくら)	49%	流し台(ステンレス張)	
ラワン合板	11%	軟質クッションフロア		排気扇設備(径30cm)	
一重廻縁(並)	30%	(下地板張)(中)	3%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	5%		
		クリンカータイル	3%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
兵庫県 (神戸市) 13254 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (色吹付仕上)	桧(集成材) (10.5cm)20% 大壁造 (10.5cm)80%	繊維壁 (砂状のもの)(中) 25% ラワン合板 5% 角タイル(並) 5% 単板張り合板 5% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 60%
奈良県 (奈良市) 11273 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (リシン仕上)(中)	桧(120cm) (中) 10% 桧(105cm) (中) 18% 大壁造 (10.5cm)72%	プリント合板 48% 繊維壁 (下地合板・繊維状)(中) 28% 布貼(下地合板)(中) 11% 角タイル(並) 4% 石膏ボード (化粧板・目地棒なし) 3% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 6%
和歌山県 (和歌山市) 10287 m ²	日本瓦(釉薬)	色吹付仕上 60% 着色亜鉛鉄板波板 (裏板あり) 40%	桧(105cm) (中) 50% 桧(100cm) (中) 50%	繊維壁(下地合板) 80% 合成樹脂壁紙 (下地合板) 10% ラワン合板 10%

天 井		床		建 築 設 備	建 築 価 額 1.0㎡当たり
一重廻縁(上)	15%	畳(中)	25%	電鈴設備(トランス式)	円 104500
一重廻縁(中)	15%	単板張り合板	35%	浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板	5%	縁甲板(中)	5%	排気扇設備(径30cm)	
岩綿繊維板	15%	ラワン合板	5%	流し台(ステンレス張)	
合成樹脂壁紙(中)	50%	クリンカータイル	5%		
		軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中)	10%		
		じゅうたん			
		(下地板張)(中)	15%		
布 貼(中)	28%	モザイクパーケット		浴槽(ステンレス製)	円 90900
軟質繊維板(化粧板)	34%	(なら・ぶな)	45%	浄化槽(5人槽)	
一重廻縁(中)	14%	畳(合成樹脂床)	28%		
舟底天井(並)	14%	単板張り合板	14%		
石綿スレート(吸音板)	5%	硬質クッションフロア			
半硬質繊維板		(下地板張)(中)	6%		
(吸音板)	5%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	4%		
		角タイル			
		(下地コンクリート)	3%		
打上天井		畳(中)	70%	浴槽(ステンレス製)	円 82000
(桧板)(中)	70%	縁甲板(並)	10%		
ラワン合板	10%	フローリング張(なら)	15%		
石膏ボード(吸音板)	20%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	5%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
鳥 取 県 (鳥取市) 90.75 m ²	日本瓦(粘薬)	モルタル (リシン仕上)(中) 95% 小口二丁掛タイル 5%	桧 (120 cm) (中) 42% 桧 (105 cm) (中) 23% 大壁造 (10.5 cm) 35%	角タイル(並) 6% ブラスター 8% ラワン合板 10% 繊維壁 (綿状のもの)(中) 36% 軟質繊維板(普通板) 13% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 11% プリント合板 16%
島 根 県 (松江市) 116.38 m ²	日本瓦(粘薬)	モルタル (リシン仕上)(上) 3% モルタル (リシン仕上)(中) 97%	桧 (12 cm) (上) 24% 杉 (105 cm) (上) 25% 大壁造 51%	角タイル 8% 合成樹脂壁紙(並) 29% 布貼(下地合板) 9% ラワン合板 20% 石膏ボード (化粧板・目地棒あり) 6% 繊維壁 (繊維状のもの)(上) 22% プリント合板 6%
岡 山 県 (岡山市) 93.56 m ²	日本瓦(粘薬)	モルタル (リシン仕上)(中) 98% 小口二丁掛タイル 2%	桧 (105 cm) (中) 30% 米桐(105 cm) (中) 70%	角タイル(上) 5% 布貼(下地合板)(並) 4% 硬質繊維板 14% なら合板 33% 単板張り合板 11% 繊維壁 (下地合板・砂状のもの) (上) 33%

天 井		床		建 築 設 備	建 築 価 額 10㎡当たり
二重過縁(中下)	15%	畳(中)	25%	浴槽(ステンレス製)	82645 円
一重廻縁(並)	19%	クリンカータイル	3%	排気扇設備(径30cm)	
半硬質繊維板		ラワン合板	28%		
(普通板)	26%	単板張り合板	15%		
ラワン合板	13%	リノリウム			
石膏ボード(吸音板)	10%	(下地板張)	25%		
合成樹脂被覆合板	14%	モザイクタイル			
モルタル(リシン仕上)	3%	(下地コンクリート)	4%		
二重過縁(並)	19%	畳(中)	31%	電鈴設備(電池式)	103110 円
一重廻縁(並)	12%	フローリング張		浴槽(ステンレス製)	
一重廻縁(並下)	5%	(さくら)	9%	排気扇設備(径25cm)	
ラワン合板	9%	ラワン合板	9%		
石膏ボード(吸音板)	10%	軟質クッションフロア			
軟質繊維板(化粧板)	16%	(中)(下地板張)	12%		
布 貼	10%	じゅうたん			
合成樹脂壁紙	19%	(並)(下地板張)	20%		
		じゅうたん			
		(下)(下地板張)	13%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	4%		
		クリンカータイル	2%		
二重廻縁(中下)	13%	畳(中)	35%	浴槽(ステンレス製)	92774 円
舟底天井(下)	21%	フローリングブロック		浄化槽(5人槽)	
ラワン合板	4%	(なら)	39%		
岩綿繊維板	30%	軟質クッションフロア			
合成樹脂壁紙(中)	3%	(下地板張)(中)	14%		
布 貼(中)	26%	モザイクタイル(下地板張)	5%		
モルタル(リシン仕上)	3%	クリンカータイル	3%		
		ラワン合板	4%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
広島県 (広島市) 8486 m ²	洋風瓦(中)	モルタル (色吹付仕上)	米樫(105 cm) (中)	繊維壁(下地合板) (繊維状のもの)(上) 62 % 石綿スレート(化粧板) 15 % ラワン合板 10 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 5 % 塗装合板 5 % 角タイル(並) 3 %
山口県 (山口市) 11461 m ²	日本瓦(粘薬)	焼杉 70 % モルタル (リシン仕上)(中) 30 %	米樫(100 cm) (中)	繊維壁(綿状のもの) (中) 22 % 繊維壁(砂状のもの) (中) 11 % 石綿スレート(化粧板) 11 % プリント合板 32 % ラワン合板 19 % 角タイル(並) 2 % モルタル(リシン仕上) 3 %
徳島県 (徳島市) 10379 m ²	日本瓦(並)	着色亜鉛鉄板成型 板(裏板あり)(並)	米樫(120 cm) (上)	角タイル(並) 7 % ラワン合板 6 % プリント合板 10 % 合成樹脂壁紙(並下) 44 % 繊維壁 33 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 10㎡当たり
一重廻縁(並)	60%	畳(中)	40%	電鈴設備(電池式)	89,559 円
石膏ボード(吸音板)	15%	モザイクパーケット		浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板	10%	(さくら)	25%	排気扇設備(径20cm)	
合成樹脂壁紙(中)	10%	緑甲板張(中)	20%	浄化槽(7.5人槽)	
モルタル(リシン仕上)	5%	ラワン合板	10%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	5%		
一重廻縁(並下)	26%	畳(中)	37%	電鈴設備(電池式)	92,000 円
石膏ボード(吸音板)	52%	単板張り合板	12%	浴槽(ほろろう製)	
ラワン合板	7%	軟質クッションフロア		排気扇設備(径25cm)	
合成樹脂壁紙(中)	15%	(下地板張)(中)	19%	浄化槽(7.5人槽)	
		ラワン合板	11%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	8%		
		じゅうたん			
		(下地板張)(並)	13%		
一重廻縁(中)	33%	畳(中)	33%	電鈴設備(電池式)	110,000 円
ラワン合板	6%	ラワン合板	6%	浴槽(ステンレス製)	
プリント合板(下)	3%	単板張り合板	35%	流し台(ステンレス張)	
合成樹脂被覆合板	27%	モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
軟質繊維板(化粧板)	21%	(下地コンクリート)	3%	浄化槽(5人槽)	
石膏ボード(吸音板)	10%	クリンカータイル	2%		
		モルタル			
		(下地コンクリート)	1%		
		合成樹脂タイル			
		(下地板張)	10%		
		じゅうたん(下)			
		(下地板張)	10%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
香 川 県 (高松市) 9295 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (色吹付仕上)	米桐(105cm) (中)	砂 壁 50 % プリント合板 20 % 繊維壁 (綿状のもの) 15 % 軟質繊維板(化粧板) 15 %
愛 媛 県 (松山市) 8122 m ²	日本瓦(釉薬) 96 % 着色亜鉛鉄板 (瓦棒) 4 %	モルタル (リン仕上)(中)	桧 (105cm) (中) 34 % 米桐(105cm) (中) 33 % 大壁造 (10.5cm) 33 %	繊維壁 (砂状のもの)(中) 47 % 単板張り合板 12 % 石膏ボード (化粧板・目地棒なし) 16 % 角タイル(上) 11 % ラワン合板 14 %
高 知 県 (高知市) 8245 m ²	セメント瓦 (色付) 71 % 着色亜鉛鉄板 (瓦棒・長尺もの) 29 % 断熱材(加)	モルタル (色吹付仕上) 49 % 着色亜鉛鉄板成型 板(裏板なし)(並) 43 % プリント合板 7 % 小口二丁掛タイル 1 %	桧 (105cm) (上) 20 % 桧 (105cm) (中) 20 % 桧 (105cm) (並) 10 % 大壁造 (10.5cm)	繊維壁(砂状)(中) 28 % 繊維壁(繊維状)(中) 11 % 単板張り合板 23 % プリント合板 16 % 角タイル(並) 12 % プaster 10 %

天 井		床		建 築 設 備	建 築 価 額 10㎡当たり
打上天井(中) 85%		畳(中) 50%		浴槽(ほうろろ製)	円 98000
軟質繊維板(化粧板) 15%		リノリューム (下地板張) 25%		排気扇設備(径40cm)	
		フローリング張(ラワン) 15%			
		モザイクタイル (下地コンクリート) 10%			
二重廻縁(中下) 26%		畳(中) 43%		電鈴設備(電池式)	円 74142
一重廻縁(中) 33%		単板張り合板 19%		浴槽(ステンレス製)	
合成樹脂壁紙(中) 18%		軟質クッションフロア		排気扇設備(径25cm)	
石膏ボード(吸音板) 20%		(下地板張)(中) 20%		浄化槽(5人槽)	
布貼(中) 3%		モザイクタイル (下地コンクリート) 6%			
		緑甲板張(中) 8%			
		クリンカータイル 4%			
軟質繊維板(化粧板) 40%		畳(中) 38%		電鈴設備(電池式)	円 83000
一重廻縁(中) 38%		モザイクパーケット		浴槽(ステンレス製)	
石膏ボード(吸音板) 14%		(なら・ぶな) 25%		排気扇設備(径30cm)	
石膏ボード(普通板) 8%		合成樹脂タイル			
油性ペイント(加) 8%		(下地板張) 14%			
		緑甲板張(中) 11%			
		ラワン合板 5%			
		モザイクタイル (下地板張) 2%			
		モザイクタイル (下地コンクリート) 3%			
		角タイル (下地コンクリート) 2%			

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
福岡県 (福岡市) 84.04 m ²	日本瓦(釉薬)	モルタル (色吹付仕上)	杉 (105 cm) (中) 20 % 米桐 (105 cm) (中) 80 %	ラワン合板 5 % プリント合板 10 % 角タイル(並) 5 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 15 % 繊維壁 (繊維状のもの)(中) 25 % 繊維壁 (繊維状のもの)(並) 40 %
佐賀県 (佐賀市) 115.30 m ²	セメント瓦 (色付)	モルタル (色吹付仕上) 20 % 堅羽目(中) 80 %	杉 (120 cm) (中) 30 % 杉 (105 cm) (上) 34 % 大壁造 (105cm) 36 %	繊維壁 (砂状のもの)(中) 36 % プリント合板 24 % 石荷ボード (化粧板・目地棒なし) 15 % 合成樹脂被覆合板 3 % ラワン合板 22 %
長崎県 (長崎市) 116.75 m ²	セメント瓦 (色付)	堅羽目(並) 70 % モルタル (色吹付仕上) 30 %	桧 (105 cm) (中)	繊維壁 (繊維状のもの)(中) 34 % プラスター(中) 9 % ラワン合板 8 % プリント合板 21 % 石綿スレート(化粧板) 14 % 角タイル(並) 3 % 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 11 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 10㎡当たり
一重廻縁(並)	60%	畳(中)	45%	電鈴設備(電池式)	円 99,822
軟質繊維板(化粧板)	10%	縁甲板張(並)	15%	浴槽(ポリエステル製)	
半硬質繊維板		モザイクタイル		排気扇設備(径40cm)	
(普通板)	10%	(下地コンクリート)	5%		
ラワン合板	5%	ラワン合板	5%		
石膏ボード(吸音板)	10%	プリント合板	15%		
よしず天井	5%	軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中)	15%		
一重廻縁(中)	46%	畳(中)	35%	電鈴設備(トランス式)	円 78,508
軟質繊維板(化粧板)	35%	縁甲板(中)	25%	浴槽(ポリエステル製)	
布貼(中)	4%	フローリング張(なら)	15%	排気扇設備(径20cm)	
石膏ボード(普通板)	4%	リノリューム		浄化槽(10人槽)	
ラワン合板	11%	(下地板張)	10%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	2%		
		ラワン合板	13%		
一重廻縁(中)	53%	畳(中)	25%	浴槽(ステンレス製)	円 78,000
ラワン合板	8%	モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
石膏ボード(吸音板)	25%	(下地コンクリート)	6%		
合成樹脂壁紙(中)	11%	ラワン合板	8%		
繊維壁		単板張り合板	50%		
(繊維状のもの)(並)	3%	軟質クッションフロア			
		(下地板張)(中)	3%		
		じゅうたん			
		(下地板張)(下)	8%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
熊 本 県 (熊本市) 9056 m ²	セメント瓦 (色付)	モルタル (リシン仕上)(中) 97% 小口二丁掛タイル 3%	杉 (105cm) (上) 30% 杉 (105cm) (中) 70%	繊維壁 (繊維状)(中) 60% 単板張り合板 15% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(並) 15% ラワン合板 7% 角タイル 3%
大 分 県 (大分市) 10378 m ²	セメント瓦 (色付)	モルタル (色吹付仕上)	桧 (120cm) (中) 20% 桧 (105cm) (中) 27% 米桐 (105cm) (中) 26% 大壁造 (105cm)27%	角タイル(並) 12% 合成樹脂壁紙 (下地合板)(中) 25% ラワン合板 15% 繊維壁 (砂状のもの)(上) 32% 繊維壁 (砂状のもの)(中) 16%
宮 崎 県 (宮崎市) 8197 m ²	日本瓦(釉薬) 85% 着色亜鉛鉄板 (瓦棒) 15%	モルタル (リシン仕上)(中)	杉 (105cm) (上) 70% 大壁造 (105cm)30%	角タイル(並) 10% ラワン合板 10% プリント合板 20% 石葺ボード (化粧板・目地棒あり) 10% 繊維壁 (繊維状のもの) 30% 布貼(中)(下地合板)20%

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 10㎡当たり
一重廻縁(中)	49%	畳(中)	48%	電鈴設備(トランス式)	円 79,000
布 貼(上)	14%	縁甲板(上)	12%	浴槽(ポリエステル製)	
石膏ボード(吸音板)	27%	モザイクパーケット	20%	排気扇設備(径20cm)	
ラワン合板	10%	モザイクタイル		排気扇設備(径30cm)	
		(下地板張)	2%		
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	4%		
		クリンカータイル	2%		
		ラワン合板	12%		
一重廻縁(中)	62%	畳(中)	41%	電鈴設備(電池式)	円 77,000
ラワン合板	7%	縁甲板(中)	15%	浴槽(ステンレス製)	
軟質繊維板(化粧板)	13%	モザイクパーケット		排気扇設備(径20cm)	
石膏ボード(吸音板)	15%	(なら・ぶな)	23%		
合成樹脂壁紙(中)	3%	モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	6%		
		ラワン合板	12%		
		単板張り合板	3%		
二重廻縁(中)	25%	畳(中)	35%	電鈴設備(電池式)	円 90,750
一重廻縁(中)	10%	モザイクタイル		浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板	10%	(下地コンクリート)	5%	排気扇設備(径30cm)	
軟質繊維板(化粧板)	30%	ラワン合板	10%	浄化槽(5人槽)	
石膏ボード(吸音板)	15%	単板張り合板	35%		
布 貼(中)	10%	じゅうたん			
		(下地板張)(下)	15%		

都道府県 (指定市)	屋根仕上資材	外壁仕上資材	柱	内 壁
鹿 児 島 県 (鹿児島市) 87.78 m ²	セメント瓦 (色付)	モルタル (色吹付仕上)	杉 (105 cm) (特) 30 % 杉 (105 cm) (上) 30 % 杉 (105 cm) (中) 40 %	繊維壁 (綿状のもの)(中) 41 % 石膏ボード (化粧板・目地樺なし) 13 % プリント合板 19 % ラワン合板 9 % 布 貼 (下地合板)(並) 11 % 角タイル(並) 7 %
沖 縄 県 (那覇市) 93.06 m ²	セメント瓦 (色付) 93 % 亜鉛鉄板(波型) (裏板あり) 7 %	南京下見(二重張) 75 % モルタル (リン仕上) 25 %	杉 (120 cm)	プリント合板 64 % ラワン合板 10 % モルタル (油性ペイント)(加) 18 % 角タイル 8 %

天 井		床		建 築 設 備	建築価額 1.0㎡当たり
一重廻縁(中)	26%	畳(中)	38%	電鈴設備(トランス式)	円 78800
一重廻縁(並下)	21%	フローリング張		浴槽(ステンレス製)	
ラワン合板	9%	(さくら)	17%	流し台(ステンレス張)	
石膏ボード(吸音板)	44%	軟質クッションフロア		洗面台(陶器製)	
		(下地板張)(中)	18%	排気扇設備(径30cm)	
		モザイクタイル			
		(下地コンクリート)	4%		
		ラワン合板	9%		
		じゅうたん			
		(下地板張)(中)	11%		
		クリンカータイル	3%		
石綿スレート	4%	畳(中)	12%	電鈴設備(電池式)	円 106061
(フレキシブル板)		軟質クッションフロア		排気扇設備(径20cm)	
油性ペイント(加)	4%	(下地板張)(中)	71%		
ラワン合板	7%	杉板張	7%		
プリント合板	12%	モザイクタイル			
石膏ボード(普通板)	77%	(下地コンクリート)	10%		

第2 建築単価における地域差について

1 研究の目的

前回の研究では、在来工法による木造住宅の建築単価における地域差について、「建築動態統計調査による工事費予定額の補正調査」及び「住宅金融公庫個人住宅建設資金利用者調査」の資料からその実態を検討し、その結果とさらにその地域差の原因について若干の推論を報告した。

今回は、前回の研究の継続として、地域差の原因と考えられるいくつかの要因について建築単価との関連性を検討することとした。

2 地域差の要因（分類）

建築単価における地域差の原因と考えられるものは、いろいろあるが、これからの検討作業上整理してみる。すなわち、地域差の原因を消費者（建築主）の意向と無関係に存在する要因 - 外部要因、と消費者の意向によって左右される要因 - 内部要因に分類する。

つまり、外部要因としては、気候風土などの自然環境による建築物の構造や材料などの違いとか、建築資材の流通事情や労務事情などの社会環境による要因、あるいは需要と供給の関係から起る経済環境による要因などがこれに該当する。

内部要因としては、建築主の選択志向や消費動向によって左右される要因とか、建築主の社会的属性（職業、年齢、収入資産等）によって支配される要因などが該当する。

3 検討要因

ここでは、外部要因として消費者物価指数と大工賃金をとり上げこれらと建築単価との関連を検討する。

建築資材の代表として消費者物価を採用したのは、住宅に使用される材料や部品が極めて多種多様になってきており、これらを代表する適当な品目がないことと、木造住宅を建設しているのが比較的中小規模の工務店が多い実態から卸売物価より消費物価の方が実情に合っていると考えたからである。また労務費の代表として大工賃金を採用したのは、木工事そのもののウエイトは下がりがつつあるとは言え、まだ労務費に占める大工のウエイトは高く、また大工が関係する職域は逆に広がってきているからである。

内部要因としては、住宅の規模、総建築費（土地費を除く。以下同じ。）、収入、手持金（総建築費から借入金を除いたもの。以下同じ。）をとり上げ、これらと建築単価との関連を検討する。

建築主の選択志向が出てくるのは本来は、住宅の質的内容であるが、これは、材料面、仕上面、設備面、デザイン面等内容が多岐に及びその把握が困難であるため、住宅の延べ面積を採用した。

建築主の消費動向として建築資金をどの程度用意できるかという観点から総建築費を採用した。また、個人の総資産も把握が困難であるため手持金を代替として使用した。

なお、これらの検討に使用した資料は次のとおりである。

- (1) 物価：消費者物価（総合）地域差指数（53年度）
- (2) 労務賃金：屋外労働者職業別賃金調査（53年8月調査、労働省）
- (3) 建築単価（木造住宅）、住宅規模、総建築費、手持金：54年度個人住宅建設資金利用者調査（住宅金融公庫）

4 建築単価の地域差

住宅金融公庫の54年度個人住宅建設資金を利用した在来工法による木造住宅の1平方メートルあたりの建築単価の都道府県別平均値は別表-1のとおりである。

最	高：大阪府	118,730円/m ² （103.2）
最	低：青森県	66,690円/m ² （58.0）

全国平均： 9 3,7 8.0 円/㎡ (8 1.5)

()内は東京を100とした場合の指数

地域差傾向は、前回報告したものと全く変りはない。

つまり、近畿圏と首都圏が目立って高く、その中でも大阪府が最高値を示し、建築単価の高い地域では西高東低の傾向がみられる。続いて東海、山陽、福岡などの新幹線沿いが比較的高い地域となっている。低い地域はやはり東北、南九州で、中でも青森、岩手、秋田は特に低い。建築単価の格差も相当大きく、青森では、大阪の6割弱の建築費で住宅が建設されていることになる。

念のため、このような地域差傾向を過去5年間にわたって東京を100とした指数で追跡してみると別表-2のとおりであり、これによると各年度における各地域の指数の変動は極く小さく、順位もそれ程変わらないことから、建築単価における地域差は、ほぼ固定されていると判断できるのではないかと思われる。

5 物価の地域差

消費者物価(総合)の都道府県所在地における地域差指数は別表-1のとおりである。

最 高：東京 100

最 低：宮崎 89.2

全国平均 91.2

消費者物価の地域差は、首都圏が明らかに高く、近畿圏、東海がこれに次いで高い。しかし建築単価の場合のように二山形でなく、首都圏のみが高い一山形であることに特長がある。他の地域は宮崎、大分、東北地方など一部の地域が低く、全体的に若干の高低はみられるがそれ程の差はない。格差は全体的にみてもせいぜい10%の間を往復しているのみである。

建築単価との関連性を指数で比較してみると物価指数の高低と単価指数の高低とはやや連動性が認められるが、その格差は物価指数の方がはるかに小さい。

(別図-1参照)

6 労務賃金の地域差

屋外労働者職種別賃金調査によると都道府県別の大工の1人1日平均現金給与額(53年8月調査)は別表-1のとおりである。

最 高	：神奈川県	9,550円/人・日	(102.1)
最 低	：宮 崎県	5,720	(61.2)
全国平均		7,940	(84.9)

()内は東京を100とした場合の指数

大工賃金の地域差傾向は、首都圏、北海道、近畿、東海の順に高く、南九州が特に安い。格差も相当大きく地域によってかなり高低がみられる。

特に、北海道、富山をはじめ、青森、秋田、山形などの雪国が高くなっているのが目立つ。

(注、北海道、東北、北陸などの雪国の労務賃金が高い理由は、冬期間仕事が出来ないため夏場に仕事が集中することや緯度の関係で夏場の1日の労働時間が長いためでないかと考えられる。)

この地域差を建築単価の場合と比較すると、全体的によく類似している。つまり、部分的には隔離する地域もあるが、大工賃金指数の高低と単価指数の高低はほぼ一致し、しかもその格差もほぼ同程度である。(別図-1参照)

7 住宅規模の地域差

個人住宅建設資金利用者が建設した住宅の都道府県別平均延べ面積(住宅部分)は別表-1のとおりである。

最 高	：山形県	122.0 m^2 /戸	(117.5)
最 低	：埼玉県	99.2 "	(95.6)
全国平均		108.9 "	(104.9)

()内は東京を100とした場合の指数

住宅の延べ面積の地域差は他の場合とは全く異った傾向を示している。すなわち、東北、北陸が最も広く、香川、徳島、佐賀、鳥取、島根がこれに続いて広がっている。逆に首都圏が最も狭く、東海、近畿もこれに続いて狭い。

しかし、その格差はそれ程大きくない。

この地域差傾向は、建築単価の場合とは全く異なり、むしろ対照的な傾向がうかがえる。つまり、マクロな見方をすれば、規模指数の高い地域は単価指数が低く、規模指数の低い地域は単価指数が高い傾向がみられる。

しかし、その関連性はそれ程明確なものでなく、また格差の振幅もかなり違う。(別図-2参照)

8 総建築費の地域差

個人住宅建設資金利用者が建設した住宅の都道府県別平均総建築費は別表-1のとおりである。

最 高：東京都 1,315万円/戸(100)

最 低：青森県 808" (61.3)

全国平均： 1,064" (80.9)

()内は東京を100とした場合の指数

総建築費の地域差傾向は、首都圏が最も高く、近畿、北陸、東海がこれに続いて高くなっている。東北が最も安く、南九州も安い。格差も相当大きく、青森では東京の6割程度の建築費で、しかも東京より規模の大きい住宅を取得できることを示している。

建築単価の地域差と比較すると最も高い地域は建築単価の場合は近畿圏であるが総建築費の場合は首都圏と逆転している。これは住宅の規模が近畿圏の方が首都圏より若干広いため逆転したものと考えられる。全体的には、総建築費の地域差傾向は建築単価の地域差傾向と極めて類似している。

また、指数格差も前述の近畿圏と北陸を除けば、ほぼ一致する。(別図-2参照)

9 収入の地域差

同じく個人住宅建設資金利用者の都道府県別平均世帯収入(年収の1/12)は別表-1のとおりである。

最 高：東京都 367,000円/月(100)

最 低：宮崎県 238,200円/月(64.7)

全国平均： 287,400 (78.3)

()内は東京を100とした場合の指数

世帯収入の地域差傾向は、東京が抜群に高く、奈良、大阪がこれに続いて高い。福岡を除く九州、岩手、青森、山梨、福井が一段と低くなっているが、その他の地域もやや低目となっている。格差も比較的大きい方である。

建築単価の地域差傾向と比較すると、指数では世帯収入の地域別の高低と建築単価のそれとはよく一致した傾向を示している。指数の格差は、北海道や東北の一部を除き収入指数の方が単価指数より格差が大きくなっている。(別図-3参照)

10 手持金の地域差

同じく個人住宅建設資金利用者が住宅建築に用意した手持金の都道府県別平均額は別表-1のとおりである。

最 高：大阪府 411.9万円(105.3)

最 低：秋田県 219.0 (56.0)

全国平均： 316.8 (81.0)

()内は東京を100とした場合の指数

手持金の地域差傾向は、地域によってかなりバラツキがみられる。すなわち、大阪、奈良、東京が手持金の多い地域であることは当然であるとしても四国、北陸、愛知、三重などが比較的多く、収入等の地域差傾向と対照的な地域特性を示している。格差の方も地域によって激しく変動しているが、九州を除く東京以西では収入格差に比較して手持金の方がはるかに小さいのが目立つ。

建築単価の地域差との比較では、同じ傾向を示す地域もあるが、手持金指数の変動が激しく全体的には収入指数程明確な関連性は読み取れない。(別図-3参照)

11 ま と め

以上、諸要因の地域差傾向及びそれらと建築単価の地域差との関連性を検討してみたが、これらをまとめると次のとおりである。

(1) 建築単価の地域差に関連があると考えられる要因

(地域差傾向も、その指数格差もほぼ同様の傾向を持つもの)

イ 労務賃金(大工賃金)

季節的変動のある雪国など一部の地域を除き、建築単価の地域差とほぼ一致する。(別図-4参照)また、工事費の構成や工事費に占めるウェイトから考えても関連があるのは当然である。

ロ 総建築費

地域格差は、よく一致する。(別図-5参照)指数格差も全体的には一致するが、住宅規模の広い地域では単価指数より格差は小さく、住宅規模の狭い地域では格差は大きくなっている。

この傾向については二通りの見方ができる。

一つは、建築単価の高い地域は、必然的に総建築費も高くなり、総建築費を抑制するため住宅規模も小さくなるという見方と、もう一つは、建築費を多く用意できる地域では建主の消費動向としてより水準の高い住宅を求める傾向があり、従って結果的に建築単価が高くなるという見方である。

ハ 世帯収入

これも地域差傾向はよく一致している。(別図-6参照)しかし、指数格差は、建築単価より全体的にやや大きくなっている。

収入の多い地域は建築単価が高いというこの傾向は、前述の二通りの見方のうち、後者の方があたっているのではないかと考えられる。

つまり、収入が多いということは一般的には借金の返済能力も高く、預貯金などの手持金も多く、従って建築資金もより多く準備でき、最近の消費者の高級化志向という消費動向からみて、建築主をしてより水準の高い住宅を求める傾向に向かわせるのではないかと推察される。

(2) 建築単価の地域差に関連がないとは言えないが、関係がやや不明確な要因

(地域差傾向が部分的に一致するもの、または地域差傾向は同じでも指数格差が違うもの)

イ 消費者物価指数

物価指数の高い地域は建築単価も高くなっているという傾向は認められるが、格差の幅が非常に小さいので建築単価に及ぼす影響がどの程度あるか不明である。

工事費の構成上、建築資材が建築単価の地域差に影響を与えることは明白である。しかし、建築資材も最近では建材、部品、設備機器等の工業製品の占めるウェイトが高くなってきていること、木材も外材が多く使用されていること、資材の流通網が整備され輸送能力も向上していることなどから建築資材の地域差は次第に縮小し建築単価の地域差に及ぼす影響も弱くなってきているものとは推察される。

ロ 手持金

地域差傾向は、ある程度関連性が認められる。

しかし、手持金の場合は地域差特性が非常に強く、かつ、格差も激しいので、関連性が判別し難い。

ハ 住宅規模

建築単価との関係では明白な関連性は認められない。強いて関連性を求めるとすれば逆相関の関係であろう。つまり、大まかな見方をすれば、住宅規模の大きい地域は建築単価が安く、反対に住宅規模の小さい地域では建築単価が高いという傾向が認められるが、格差の幅も小さいので建築単価との直接的な関係より、他の要因(たとえば敷地面積等)との関連が影響しているものと考えられる。

(別表-1)

都道府県別平均値一覧表

都道 府県名	消費者物価 指数(53 年度総合)	国外労働者(大工)		54年度住宅建設資金利用者調査									
		平均現金給与額 (53年8月調査)		木造住宅の建築単価	住宅部分の延べ面積	総建築費 (土地費を除く)	世帯収入	手持金					
		円/日	円/㎡	円/戸	円/㎡	万円/月	万円	万円					
北海道	94.3	9,470	101.3	88,490	76.9	1,129	108.8	1,021.9	77.7	31.81	86.7	278.6	71.2
青森	91.2	7,220	77.2	66,690	58.0	1,176	113.3	808.0	61.3	24.41	66.5	235.5	60.2
岩手	90.3	6,420	68.7	74,350	64.6	1,139	109.7	870.2	66.2	24.18	65.9	243.0	62.1
宮城	95.1	6,850	73.3	86,300	75.0	1,143	110.1	1,016.9	77.3	28.73	78.3	284.5	72.7
秋田	90.9	7,290	78.0	71,650	62.3	1,171	112.8	832.6	63.3	25.32	69.0	219.0	56.0
山形	94.2	7,330	78.4	84,920	73.8	1,220	117.5	1,050.8	79.9	26.57	72.4	294.5	75.3
福島	90.2	6,300	67.4	80,510	70.0	1,145	110.3	941.8	71.6	25.61	69.8	280.8	61.5
茨城	92.4	6,990	74.8	88,400	76.8	1,066	102.7	976.6	74.3	27.16	74.0	29.0	74.1
栃木	90.3	7,060	75.5	84,420	73.4	1,070	103.1	932.7	70.9	26.82	73.1	295.5	75.5
群馬	90.2	6,800	72.7	84,830	73.7	1,067	102.8	935.0	71.1	24.87	67.7	280.0	71.6
埼玉	94.5	8,640	92.4	102,970	89.5	99.2	95.6	1,042.5	79.3	30.08	81.9	327.9	83.8
千葉	94.4	8,070	86.3	103,940	90.3	104.5	100.7	1,114.4	84.7	32.69	89.0	333.7	85.3
東京都	100.0	9,350	100.0	115,080	100.0	103.8	100.0	1,315.0	100.0	36.71	100.0	391.3	100.0
神奈川県	96.7	9,550	100.1	111,960	97.3	104.1	100.3	1,191.0	90.6	34.99	95.3	343.9	87.9
新潟	93.1	7,490	80.1	81,080	70.5	1,148	110.6	967.2	73.6	24.81	67.6	276.4	70.1
富山	92.2	8,810	94.2	92,610	80.5	1,198	115.4	1,150.0	87.5	26.12	71.2	343.5	87.8
石川	91.8	7,690	82.2	87,610	76.1	1,183	114.0	1,093.8	83.2	25.37	69.1	314.9	80.5
福井	90.5	7,110	76.0	89,020	77.4	1,199	115.5	1,130.3	86.0	24.58	67.0	363.4	92.9
山梨	90.6	7,010	75.0	84,830	73.7	1,136	109.2	1,021.2	77.7	24.17	65.8	353.0	90.2
長野	90.2	7,280	77.9	87,120	75.7	1,172	112.9	1,058.1	80.5	26.01	70.9	311.7	79.7
岐阜	92.2	6,810	72.8	88,520	76.9	1,105	106.5	1,029.1	78.3	25.34	69.0	310.5	79.4
静岡	94.3	7,560	80.9	94,680	82.3	1,060	102.1	1,040.9	79.2	26.78	73.0	295.7	75.6
愛知	94.4	8,280	88.6	99,780	86.7	1,076	103.7	1,135.5	86.3	29.12	79.3	358.6	91.6
三重	89.7	9,020	96.5	100,550	87.4	1,075	103.6	1,103.4	83.9	25.42	69.2	370.4	94.7
滋賀	93.4	7,700	82.4	101,550	88.2	1,092	105.2	1,126.9	85.7	28.81	78.5	336.6	86.0
京都	96.5	8,380	89.6	111,070	96.4	1,060	102.1	1,185.9	90.2	31.22	85.0	394.9	100.4
大阪	94.9	9,280	99.3	118,730	103.2	1,053	101.4	1,240.1	94.3	33.91	92.4	411.9	105.3
兵庫	95.3	9,160	98.0	102,940	89.5	1,067	102.8	1,125.3	85.6	29.43	80.2	368.2	74.1
奈良	94.4	9,250	98.9	108,670	94.4	113	109.1	1,237.3	94.1	33.98	92.6	405.9	103.7
和歌山	93.6	8,040	86.0	100,460	87.3	105.7	101.8	1,082.0	82.3	25.71	70.0	353.6	90.4
鳥取	90.1	7,520	80.4	87,870	76.4	1,146	110.4	1,059.9	80.6	25.03	68.2	287.5	73.5
島根	90.7	7,200	77.0	90,670	78.8	1,147	110.5	1,065.8	81.0	25.85	70.4	285.0	72.8
岡山	93.4	7,620	81.5	92,200	80.1	1,108	106.7	1,060.1	80.6	26.72	72.8	306.5	78.3
広島	92.4	7,630	81.6	91,660	79.6	1,093	105.3	1,068.0	81.2	27.53	75.0	301.5	77.1
山口	90.8	7,280	77.9	97,790	85.0	1,080	104.0	1,088.2	82.5	27.08	73.8	276.3	70.6
徳島	93.0	7,690	82.2	88,550	76.9	1,150	110.8	1,088.2	82.8	24.98	68.0	384.1	98.2
香川	90.7	7,200	77.0	89,840	78.1	1,160	111.8	1,116.6	84.9	25.66	69.9	348.2	89.0
愛媛	91.4	6,640	71.0	85,810	74.6	1,099	105.9	1,015.7	77.2	25.91	70.6	322.8	82.5
高知	92.1	7,130	76.3	91,380	79.4	1,061	102.2	1,009.5	76.8	26.66	72.6	309.6	79.1
福岡	93.3	6,970	74.5	92,310	80.2	1,092	105.2	1,031.8	78.5	27.77	75.6	295.6	75.5
佐賀	89.5	7,120	76.1	82,620	71.8	1,162	111.9	992.8	75.5	25.80	70.3	288.7	73.8
長崎	90.5	6,670	71.3	85,330	74.1	1,087	104.7	968.0	73.6	25.85	70.4	255.4	65.3
熊本	91.6	6,230	66.6	81,880	71.2	1,111	107.0	950.7	72.3	25.11	68.4	269.8	68.9
大分	89.5	6,510	69.6	81,420	70.8	1,138	109.6	963.3	73.3	25.72	70.1	274.6	70.2
宮崎	89.2	5,720	61.2	79,500	69.1	1,077	103.8	882.4	67.1	23.82	64.9	257.4	65.8
鹿児島	92.3	6,470	69.2	81,260	70.6	1,036	99.8	912.1	69.4	24.51	66.8	242.8	62.0
全国	91.2	7,940	84.9	93,780	81.5	1,089	104.9	1,064.0	80.9	28.74	78.3	316.8	81.0

木造住宅建築単価指数都道府県別一覽表

(別表-2)

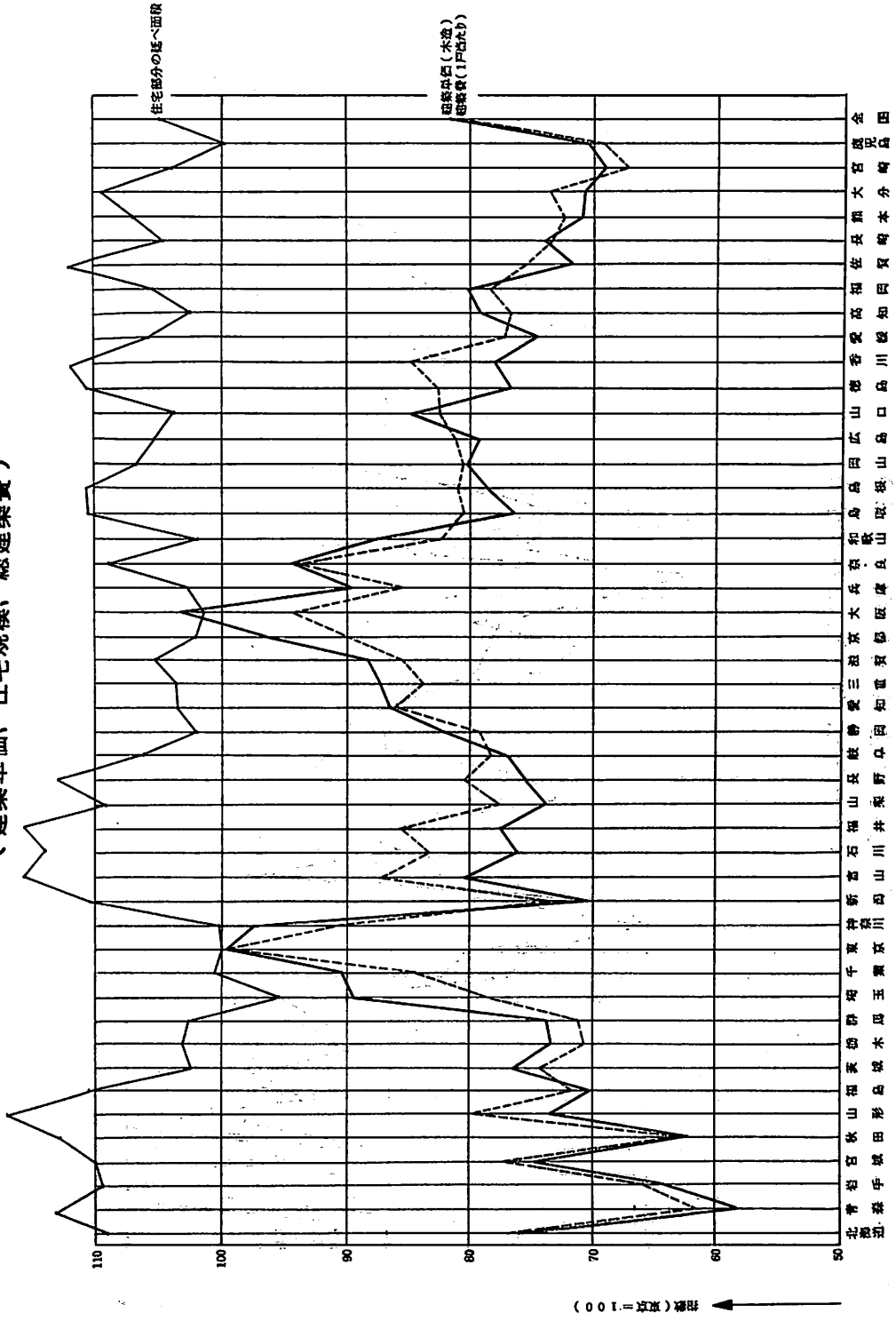
都道府県名	54年度	53	52	51	50
1 大阪府	103.2	102.6	101.1	101.6	100.0
2 東京都	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3 神奈川県	97.3	98.7	98.0	99.1	99.1
4 東京都	96.4	95.5	96.3	94.3	93.8
5 奈良県	94.4	94.4	97.1	94.3	98.3
6 千葉県	90.3	90.6	90.1	91.2	90.4
7 兵庫県	89.5	92.2	91.8	92.1	90.4
8 埼玉県	89.5	89.6	88.1	88.6	86.6
9 滋賀県	88.2	88.9	91.4	88.6	89.0
10 三重県	87.4	89.3	89.7	90.8	87.9
11 和歌山県	87.3	89.0	92.7	91.6	88.3
12 愛知県	86.7	87.5	86.5	87.8	87.4
13 山梨県	85.0	84.9	85.3	84.3	81.3
14 静岡県	82.3	82.9	83.1	83.4	82.3
15 富山県	80.5	81.3	80.2	79.1	77.2
16 福井県	80.2	82.0	81.3	81.0	77.5
17 岡山県	80.1	81.6	82.7	82.2	80.9
18 広島県	79.6	81.6	81.6	81.2	80.3
19 高知県	79.4	81.5	80.1	78.9	75.8
20 鳥取県	78.8	80.0	78.5	77.3	74.5
21 香川県	78.1	78.8	79.3	77.7	75.9
22 徳島県	77.4	78.0	76.3	76.6	73.8
23 島根県	76.9	79.7	78.6	77.6	73.8
24 広島県	76.9	78.1	77.9	78.1	76.8

都道府県名	54年度	53	52	51	50
25 北海道	76.9	77.9	76.1	74.8	72.1
26 茨城県	76.8	76.7	76.3	76.8	76.0
27 鳥取県	76.4	78.3	77.6	76.9	74.5
28 石川県	76.1	77.2	78.6	78.1	75.8
29 長野県	75.7	73.5	72.0	71.0	68.9
30 宮城県	75.0	75.0	73.1	74.0	67.8
31 愛媛県	74.6	76.9	76.3	75.0	73.2
32 長崎県	74.1	75.7	76.2	75.0	72.6
33 山形県	73.8	74.8	71.8	69.2	66.0
34 山梨県	73.7	75.8	74.1	75.1	72.3
35 群馬県	73.7	74.9	75.2	74.9	73.1
36 栃木県	73.4	73.9	73.1	72.9	71.9
37 佐賀県	71.8	73.1	72.6	71.5	67.2
38 熊本県	71.2	72.5	70.9	70.6	68.9
39 大分県	70.8	72.2	70.9	70.3	69.7
40 鹿児島県	70.6	74.1	72.2	73.3	71.3
41 新潟県	70.5	70.4	69.5	68.6	65.8
42 福島県	70.0	71.4	69.5	68.5	66.5
43 宮城県	69.1	70.5	68.8	70.2	67.9
44 岩手県	64.6	65.9	64.8	65.0	52.3
45 秋田県	62.3	64.8	64.5	64.2	62.1
46 青森県	58.0	57.2	56.4	55.4	55.2
全国(平均)	81.5	82.2	80.8	80.6	77.8

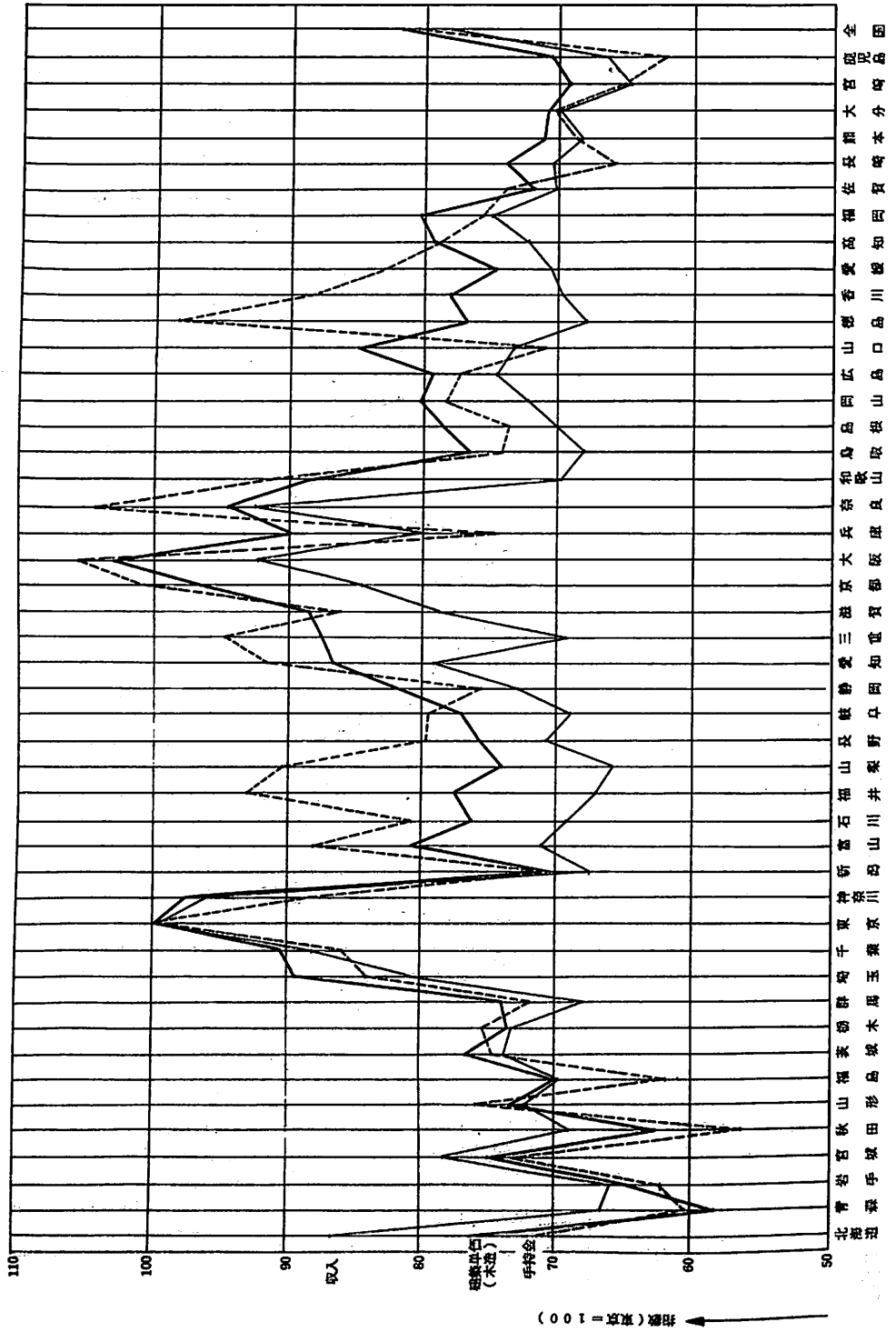
注1 単価指数は、住宅金融公庫の個人住宅建設資金利用者調査による在来木造住宅の1平方メートル当たり建築単価より算出した。
 注2 単価指数は、東京の単価を100.0とした指数である。
 注3 都道府県の順位は54年度の指数による。

(別図-2)

地域差指数比較図 (2)
(建築単価、住宅規模、総建築費)

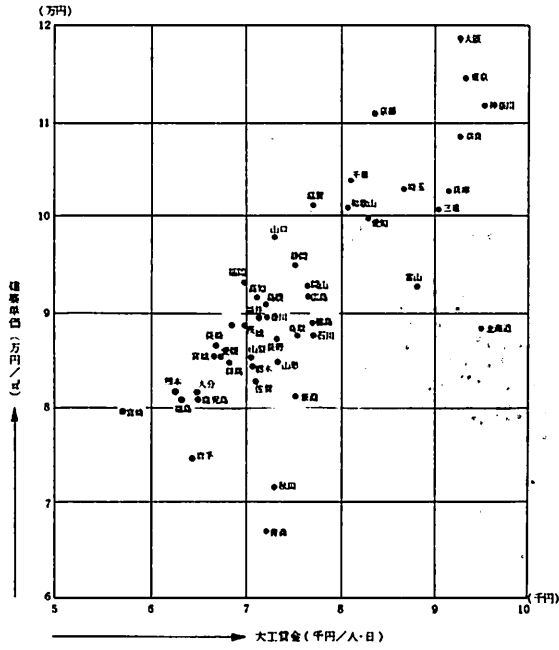


地域差指数比較図 (3)
(建築単価、世帯収入、手持金)



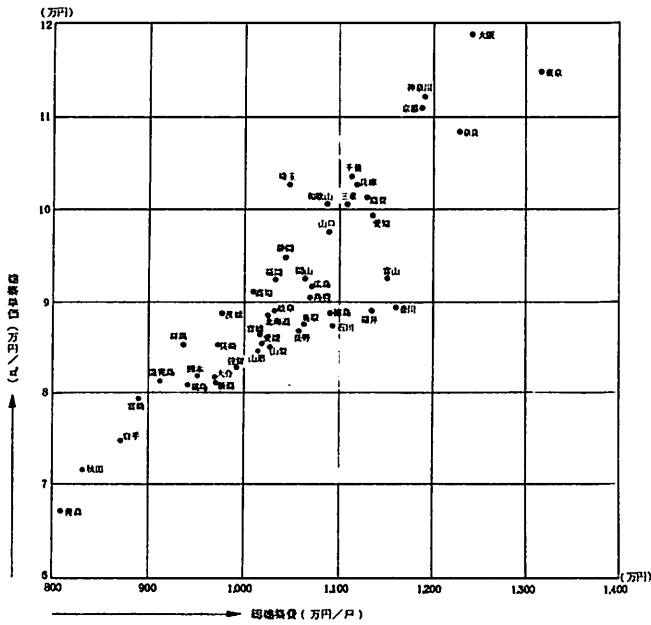
(別図-4)

労務賃金



(別図-5)

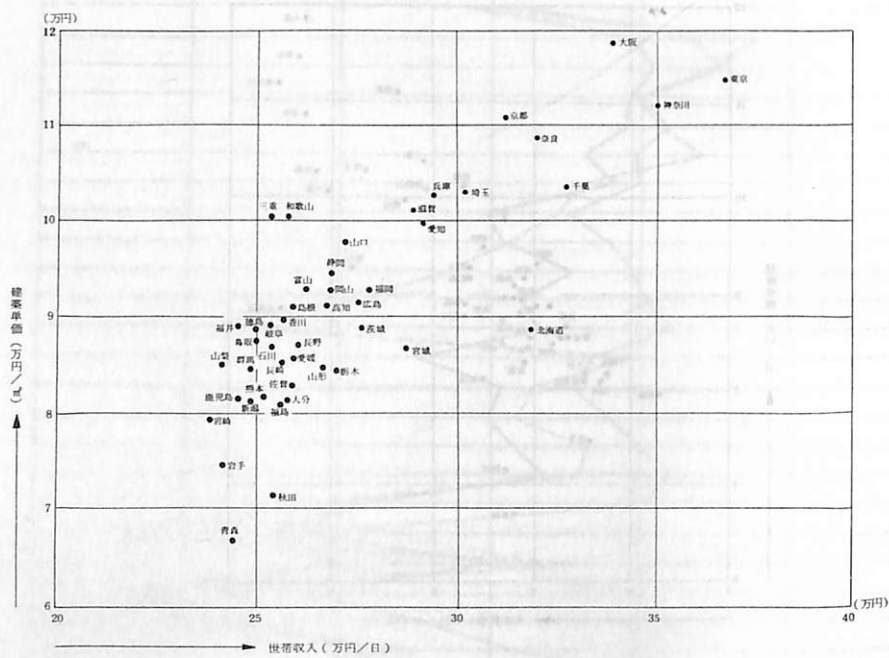
総建築費



(別図-6)

世帯収入

(4-図限)



(2-図限)

